

「水防災意識社会 再構築ビジョン」

「斐伊川水系の減災に係る取組方針」及び
「斐伊川水系中海沿岸の減災に係る取組方針」に基づく

進捗状況確認資料

【説明用】

令和5年6月14日

斐伊川水系大規模氾濫時の減災対策協議会

〔 松江市、出雲市、雲南市、島根県、松江地方气象台、
国土交通省中国地方整備局 〕

斐伊川水系中海沿岸の大規模水害に関する減災対策協議会

〔 米子市、境港市、松江市、安来市、鳥取県、島根県、
松江地方气象台、国土交通省中国地方整備局 〕

■概ね5年で達成すべき目標

斐伊川治水3点セットの早期完成に向け事業推進を図りつつ、大規模水害に対し、天井川、連結汽水湖の氾濫特性を踏まえたハード・ソフト対策を推進し、「逃げ遅れゼロ」、「社会経済被害の最小化」を目指す。

※大規模水害……想定最大規模降雨における洪水氾濫による被害

※逃げ遅れ……立ち退き避難が必要なエリアからの避難が遅れ孤立した状態

※社会経済被害の最小化……大規模水害による社会経済被害を軽減し、早期に再開できる状態

■目標達成に向けた4本柱の取組

目標達成に向け以下の取組を実施。

- ① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組
- ② 天井川や湖沼の氾濫特性に応じた効果的な水防活動
- ③ 長期化する浸水を一日も早く解消するための排水対策
- ④ 流域治水対策に資する取組

減災のための目標

(斐伊川水系中海沿岸の大規模水害に関する減災対策協議会)

■概ね5年で達成すべき目標

斐伊川治水3点セットの早期完成に向け事業推進を図りつつ、大規模水害に対し、中海の氾濫特性を踏まえたハード・ソフト対策を推進し、**「住民の防災意識の向上」、「浸水被害の最小化」**を目指す。

- ※大規模水害 …… 想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水や高潮氾濫による被害
- ※防災意識の向上 …… 洪水のみならず高潮や内水への危機察知能力を向上させる
- ※浸水被害の最小化 …… 大規模水害による浸水被害を軽減し、早期に生活を再開させる

■目標達成に向けた4本柱の取組

目標達成に向け以下の取組を実施。

- ① 迫り来る危機を認識した的確な**避難行動のための取組**
- ② 中海の浸水特性に応じた効果的な**水防活動及び施設運用の取組**
- ③ 予測しづらい**高潮への対応能力を高める取組**
- ④ **流域治水対策に資する取組**

概ね5年で実施する取組

斐伊川水系大規模氾濫時の減災対策協議会

斐伊川水系中海沿岸の大規模水害に関する
減災対策協議会

① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

・堤防整備（浸透対策、パイピング対策、流下能力対策）

斐伊川1

・中海湖岸堤整備

中海1

■ 避難行動、水防活動に資する基盤等の整備

・洪水に対しリスクの高い箇所を監視するCCTV等の整備【斐伊川】
・水害に対しリスクの高い箇所を監視するCCTV等の整備【中海】

・河川のリアルタイム映像の提供設備の整備及び避難行動等に資する水位予測等の精度向上【共通】

共通1

・防災情報の周知徹底

中海2

・防災気象情報の改善

共通2

■ 想定最大規模降雨における洪水想定区域図に基づくハザードマップの作成・周知等

・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図及び家屋倒壊等
氾濫想定区域(※)に基づく避難計画の見直し・周知

斐伊川2

・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づく避難指示等を発令する範囲の見直し【共通】

共通3

・洪水浸水想定区域内の要配慮者（社会福祉施設等）利用施設の管理者が策定する避難計画作成等の支援や定住外国人等を対象とした避難情報の提供、避難訓練の実施支援【共通】

共通4

・夜間、荒天時における避難指示等の発令基準の作成・避難誘導體制の検討【共通】

共通5

概ね5年で実施する取組

斐伊川水系大規模氾濫時の減災対策協議会		斐伊川水系中海沿岸の大規模水害に関する減災対策協議会	
・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップを作成し、洪水浸水想定区域内の各戸・事業所へ配付・周知【共通】			共通6
・防災施設の機能に関する情報提供の充実【共通】			共通7
・広域避難体制等の構築【共通】			共通8
■多様な主体による被害軽減対策			
・河川管理者、沿川自治体、住民、交通サービス 道路管理者等と連携したタイムラインの策定、運用【共通】			共通9
・避難指示に着目したタイムラインに基づく、より実践的な総合水防訓練（斐伊川水防演習）の実施	斐伊川3		
・市庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実【共通】			共通10
・市庁舎や災害拠点病院等の機能確保のための対策の充実（耐水化、非常用発電等の整備）【共通】			共通11
■防災教育や防災知識の普及、共助の仕組みの強化			
・天井川である斐伊川本川において、堤防の越水時や決壊時における流水の破壊力に関するイメージ 動画の作成・公開	斐伊川4		
「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送の活用促進のための周知【共通】			共通12
・小中学校などと連携した斐伊川水系の洪水の特徴を踏まえた水害（防災）教育の拡充【斐伊川】 ・小中学校などと連携した中海沿岸の水害の特徴を踏まえた防災教育の普及、充実【中海】			共通13
・住民の水防災意識の向上に資するイメージ動画等のツールを活用した、より実践的な防災教育の実施【斐伊川】 ・住民の水防災意識の向上に資する出前講座等を活用した防災知識の普及【中海】			共通14

概ね5年で実施する取組

斐伊川水系大規模氾濫時の減災対策協議会		斐伊川水系中海沿岸の大規模水害に関する減災対策協議会	
		・地域防災リーダーの育成	中海3
<ul style="list-style-type: none"> ・斐伊川の水害リスクを踏まえ、商工会議所等と連携した企業向け水害（防災）教育及び大規模氾濫を想定した自衛水防の講習会や訓練の実施【斐伊川】 ・中海沿岸の水害リスクを踏まえ、商工会議所等と連携した企業向け水害（防災）教育及び大規模氾濫を想定した自衛水防の講習会や訓練の実施【中海】 			共通15
・プッシュ型の洪水予報等の情報発信	斐伊川5		
		・河川管理に従事している職員の説明能力向上のための研修の実施	中海4
		・市長に対し助言を行う者の育成・派遣	中海5
・報道機関との連携【共通】			共通16
・災害リスクの現地表示（まるごとまちごとハザードマップ）【共通】			共通17
・住民一人ひとりの避難計画（マイ・タイムライン）の作成支援【共通】			共通18
・避難情報や防災情報等を活用した住民参加型の避難訓練の実施【共通】			共通19
・高齢者の避難行動の理解促進に向けた取組【共通】			共通20
・地域防災力向上のための人材育成	斐伊川6		
②天井川や湖沼の氾濫特性に応じた効果的な水防活動		②中海の浸水特性に応じた効果的な水防活動及び施設運用の取組	

概ね5年で実施する取組

斐伊川水系大規模氾濫時の減災対策協議会

斐伊川水系中海沿岸の大規模水害に関する減災対策協議会

■避難行動、水防活動に資する基盤等の整備

- ・洪水に対しリスクの高い箇所を監視するCCTV等の整備（再掲）【斐伊川】
- ・水害に対しリスクの高い箇所を監視するCCTV等の整備（再掲）【中海】

- ・河川のリアルタイム映像の提供設備の整備及び避難行動等に資する水位予測等の精度向上（再掲）【共通】

再掲

- ・防災情報の周知徹底（再掲）

■水防活動の効率化及び水防体制の強化

- ・消防団員と兼任する水防団員への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施

斐伊川7

- ・斐伊川本川の重要水防箇所等洪水に対しリスクが高い区間について消防団員と兼任する水防団員や地域住民が参加する合同点検を実施【斐伊川】
- ・中海沿岸の重要水防箇所等洪水に対しリスクが高い区間について消防団員と兼任する水防団員や地域住民が参加する合同点検を実施

共通21

- ・水防活動の知識習得と技術力向上のため、総合水防訓練（斐伊川水防演習）と合わせて、水防専門家を講師とした講習会を実施

斐伊川8

- ・備蓄水防資機材情報の共有及び非常時における相互支援方法の確認

斐伊川9

- ・水防に関する広報の充実【共通】

共通22

- ・水防関係者間での連携、協力に関する検討【共通】

共通23

■施設運用の確実な実施

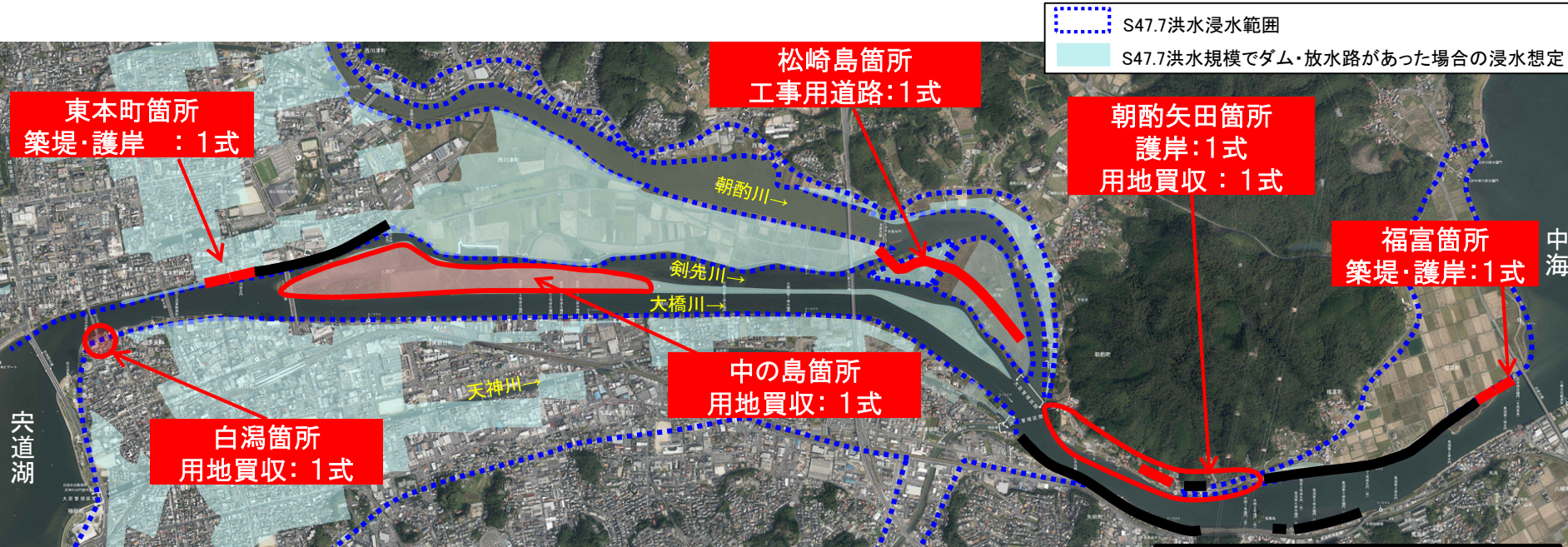
概ね5年で実施する取組

斐伊川水系大規模氾濫時の減災対策協議会		斐伊川水系中海沿岸の大規模水害に関する減災対策協議会	
		・排水施設の操作説明会の実施	中海6
③長期化する浸水を一日も早く解消するための排水対策		③予測しづらい高潮への対応能力を高める取組	
■排水活動に資する基盤等の整備		■高潮に対するハード対策の促進	
・大橋川改修	斐伊川10	・中海湖岸堤整備（再掲）	再掲
■排水計画（案）の作成及び排水訓練の実施			
・排水施設の情報共有、排水手法の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画（案）の作成	斐伊川11		
・排水計画に基づく排水訓練の実施	斐伊川12		
		■想定最大規模高潮における浸水シミュレーションの実施・公表等	
		・想定最大規模高潮における浸水シミュレーションの実施・公表	中海7
④流域治水対策に資する取組			
■水災害ハザードエリアにおける土地利用や住まい方の工夫			
・内外水統合型水害リスクマップの作成			

- ① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組
- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- ③ 長期化する浸水を一日も早く解消するための排水対策
- 排水活動に資する基盤等の整備

○大橋川改修

下流拡幅部の用地交渉、堤防整備の促進、平成18年豪雨により浸水した地区の堤防整備を促進させ、早期に安全性の向上を図ります。
 令和5年度は、下記地区における築堤護岸、用地補償等を実施中です。



— : 令和5年度整備予定箇所
 — : 施工済み箇所

① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

○ 流下能力の適切な維持

河川内の土砂を撤去し、必要な流下能力を適切に維持します。



① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

○ 中海湖岸堤整備

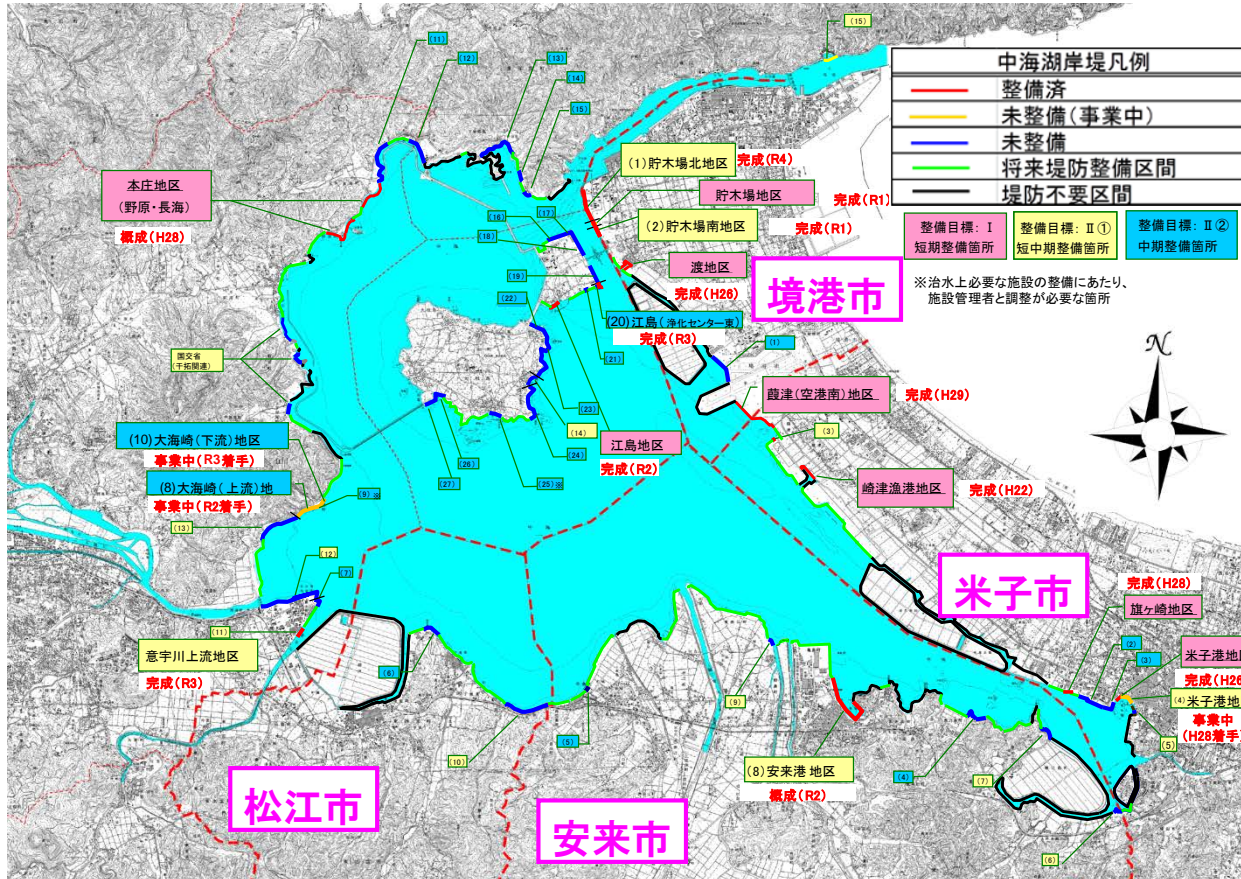
河川整備計画において、整備箇所と優先順位(短期・短中期・中期)を定め、高潮による浸水被害の防止を図るための堤防整備を実施し、早期に安全性の向上を図ります。令和2年度に短期整備が完了し、今後の予定としては、短中期整備箇所に加えて過去に浸水実績のある箇所の湖岸堤整備を実施します。

【R5整備予定箇所】

大海崎(下流)地区



米子港地区



① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

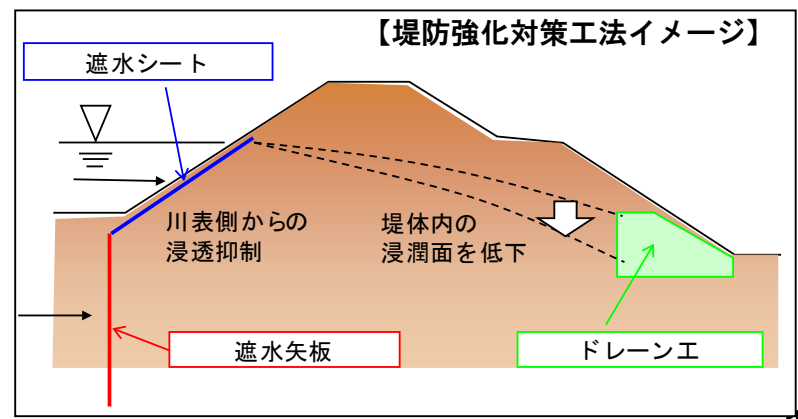
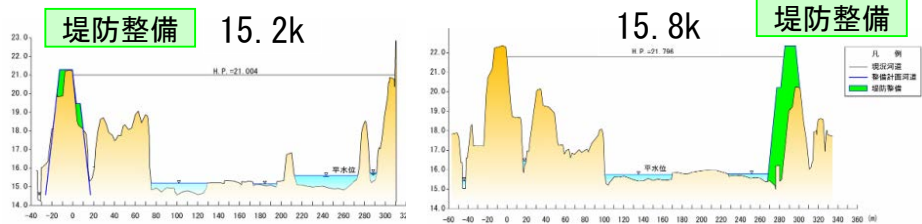
■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

○ 堤防整備(浸透対策、パイピング対策、流下能力対策)

整備実施箇所及び整備の内容



上出西地区整備状況17.6k付近



① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組
 ■ 避難行動、水防活動に資する基盤等の整備

○ 防災情報の周知徹底

< 令和5年度も継続して実施 >

◆ チラシ

風水害・土砂災害からあなたと大切な人の命を守るために
 一 警戒レベル4 避難指示までに必ず避難 !!

警戒レベル5 命の危機 直ちに安全確保!
 警戒レベル4 危険な場所から 全員避難!
 警戒レベル3 高齢者等避難!
 警戒レベル2 洪水注意報・大雨注意報等 準備が完了!
 警戒レベル1 早期注意情報 (危険行が発表)

島根県防災危機管理課

災害から大切な命を守るため 防災情報を入手し、適切な避難行動を!

しまね防災情報ホームページ

しまね防災メール

島根県防災危機管理課

◆ 考える県政 令和4年5月28日、6月11日

大雨による災害に備えましょう

水害や土砂災害は、いどこで起きるかわかりません。日頃から防災情報に注意し、いざというときに備えましょう。

避難場所や避難経路を確認する
 家族や地域の方と、避難場所や避難する道順を話し合っておきましょう。また、避難所に避難するだけでなく、安全な親戚・知人宅へ避難することも考えてみましょう。

非常持出品 (水、食料、常用薬等) を準備する
 必要最低限のものをまとめ、すぐに取り出せるように保管しておきましょう。また、マスクや消毒液、体温計も備えておきましょう。

避難情報の意味を確認する
警戒レベル5 緊急安全確保
 既に災害が発生・切迫している状況です。命が危険ですので、直ちに身の安全を確保しましょう。
警戒レベル4 避難指示
 直やかに危険な場所から避難先へ避難しましょう。
警戒レベル3 高齢者等避難
 避難に時間を要する人(ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等)とその支援者は危険な場所から避難をしましょう。その他の人も避難の準備を整え、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

防災情報の入手方法
しまね防災情報ホームページ
 島根県の防災情報の総合ページです。
 ■ 各種ハザードマップ (洪水・土砂災害・津波・ため池など)
 ■ 気象情報等 ■ 土砂災害情報
 ■ 雨量・水位情報 ■ 道路規制情報
しまね防災メール
 気象・津波情報、気象注意報、土砂災害警戒情報、河川洪水情報、国民保護情報などを防災情報メールで配信します。

問い合わせ先
 防災に関すること 防災危機管理課 0852-22-5885
 本宅や河川に関すること 河川課 0852-22-5529
 土砂災害や砂防に関すること 砂防課 0852-22-6261
 農地防災に関すること 農地整備課 0852-22-5145
 治山に関すること 森林整備課 0852-22-5172

出典: 令和4年5月28日 山陰中央新報「考える県政」

◆ 防災に関する展示

令和4年8月29日～9月2日 島根県庁1階ロビー



風水害・土砂災害から命を守るために、避難情報の意味を正しく知りましょう。

警戒レベル4 避難指示で危険な場所から全員避難。
警戒レベル3 高齢者等避難でご高齢の方や障がいのある方など、避難に時間を要する人とその支援者は危険な場所から避難。その他の人も避難の準備を整え、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

警戒レベル	避難情報等	避難行動等
警戒レベル5 命の危機 直ちに安全確保!	緊急安全確保 (市町村が発令) 既に災害が発生・切迫している状況です。命が危険ですので、直ちに身の安全を確保しましょう。	既に災害が発生・切迫している状況です。命が危険ですので、直ちに身の安全を確保しましょう。
警戒レベル4 危険な場所から 全員避難	避難指示 (市町村が発令) 直やかに危険な場所から避難先へ避難しましょう。	災害が発生する危険が高まっています。直やかに危険な場所から避難先へ避難しましょう。
警戒レベル3 危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難 (市町村が発令)	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等)とその支援者は危険な場所から避難をしましょう。その他の人も避難の準備を整えましょう。
警戒レベル2	洪水注意報・大雨注意報等 (気象庁が発令)	避難に加え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。
警戒レベル1	早期注意情報 (気象庁が発令)	災害への心構えを高めます。

日頃からの備えが重要です

避難場所や避難経路の確認
 家族や地域の方とハザードマップ等を用いて避難場所や避難する道順を話し合っておきましょう。避難場所に避難するだけでなく、安全な親戚・知人宅へ避難することも考えてみましょう。

非常持出品(水、食料、常用薬等)の準備
 通常の非常持出品に加え、マスクや消毒液、体温計を備えておきましょう。

しまね防災メールで防災情報の入手
 気象・津波情報、気象注意報、土砂災害警戒情報、河川洪水情報、国民保護情報などをメールで配信します。

問い合わせ先: 島根県防災危機管理課 TEL0852-22-5885

出典: 令和4年6月11日 山陰中央新報「考える県政」

◆ ラジオ(エフエム山陰) 令和4年5月27日

① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組
 ■ 避難行動、水防活動に資する基盤等の整備

○ 防災情報の周知徹底
 防災ラジオ整備事業の実施

■ 事業概要

(1) 防災ラジオの整備

「防災行政無線親局」とコミュニティFMを連携させる整備を行ない、誰でも手持ち・市販のラジオで防災行政無線放送が受信可能な環境を構築した。

(2) 自動起動機能付き防災ラジオの製造・貸与

FM電波による市の防災情報の受信により自動的に電源が入る「自動起動機能付き防災ラジオ」を製造し、指定避難所や地域防災関係者に無償貸与するとともに、一般世帯、事業所及び自治会に対する有償貸与を実施、現在も継続して募集としている。

(※令和4年12月現在約3,000台を貸与(事業所等含む))



(令和5年度実施予定)

■ 引き続き、継続して募集を実施(在庫約1,000台程度)

① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

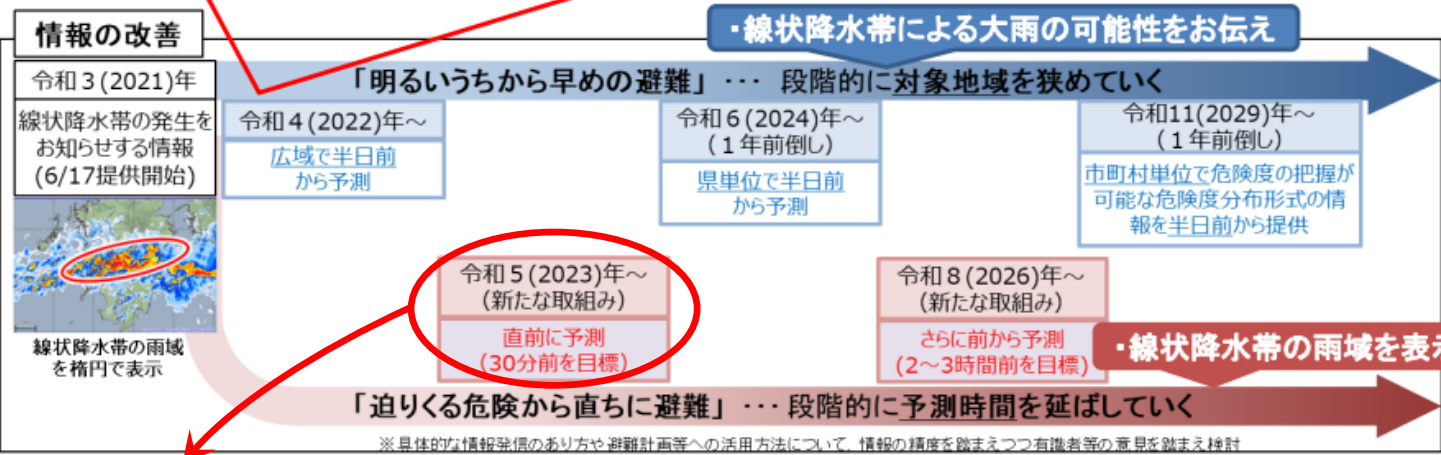
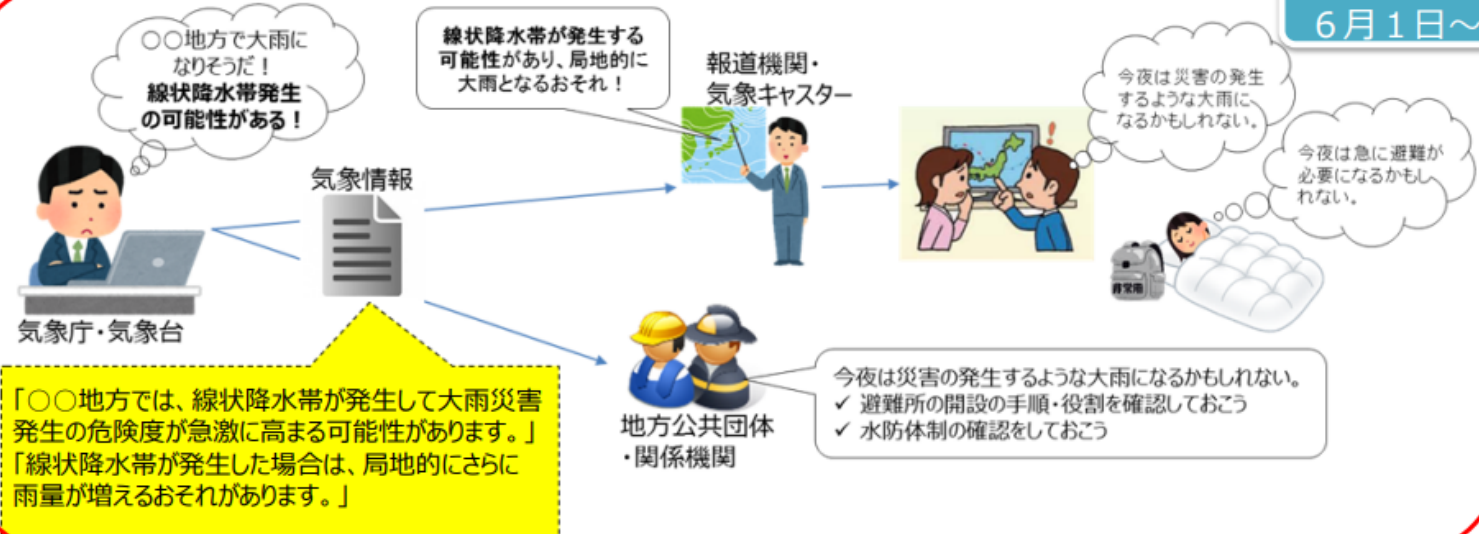
■ 避難行動、水防活動に資する基盤等の整備

○ 防災気象情報の改善(令和4年度実施)

「線状降水帯」による大雨の可能性を半日前からお伝えします



令和4年
6月1日～



令和5年より、30分前を目標とした直前の予測に取り組みます(次頁)

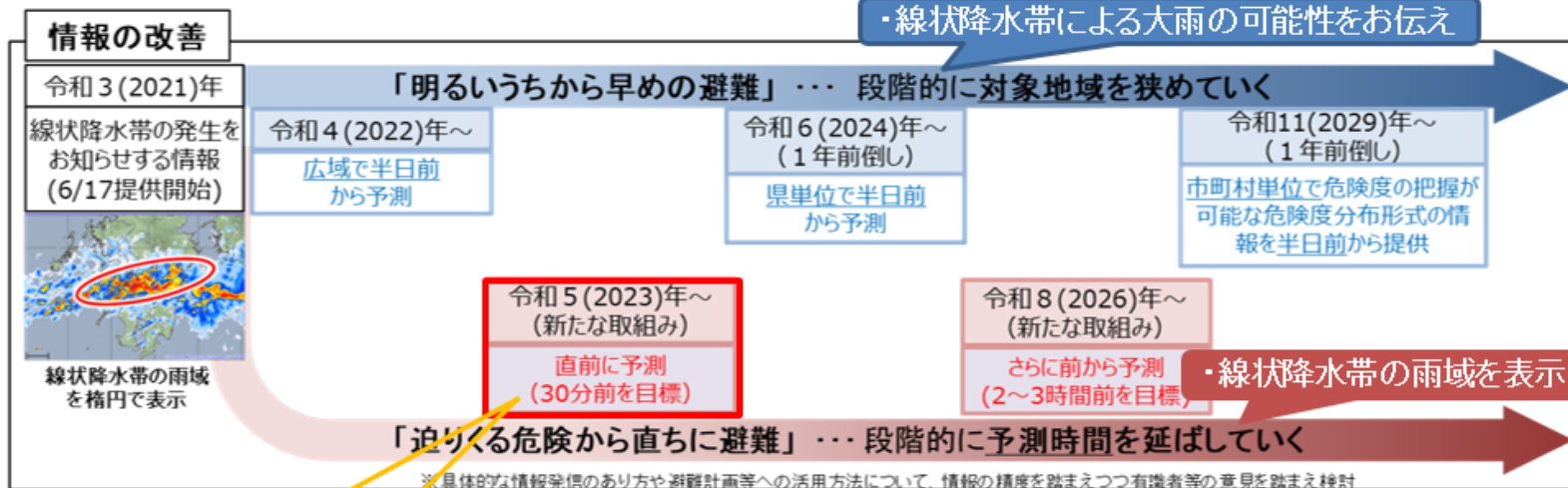
① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

■ 避難行動、水防活動に資する基盤等の整備

○ 防災気象情報の改善(令和5年度予定)

顕著な大雨に関する気象情報を、より早く提供

令和5年
5月25日～



「顕著な大雨に関する気象情報」の発表

現在:線状降水帯の発生 改善後:現在より30分程度早く、全自動で発表
予測技術を活用し、線状降水帯による大雨の危機感を少しでも早く伝えることを目指す。

顕著な大雨に関する〇〇県気象情報 第1号

令和5年〇月〇日〇〇時〇〇分 〇〇気象台発表
(見出し)

これまでの情報文と同じ

〇〇地方、〇〇地方では、線状降水帯による非常に激しい雨が同じ場所で降り続いています。
 命に危険が及ぶ土砂災害や洪水による災害発生の危険度が急激に高まっています。

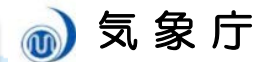
(本文)

なし

○ 防災気象情報の改善(令和4年度実施)

大雨特別警報(浸水害)の指標の改善

令和4年
6月30日~



<改善のポイント> 警戒レベル5相当の状況に一層適合させるよう、災害発生との結びつきが強い「指数」を用いて大雨特別警報(浸水害)の新たな基準値を設定。

<改善前の課題>

大雨特別警報(浸水害)を発表したが多大な被害までは生じなかった事例が多くみられる(例:平成26年8月の三重県の大雨事例、平成26年9月の北海道の大雨事例、平成29年7月の島根県の大雨事例)。

また、多大な被害が発生したにも関わらず、大雨特別警報(浸水害)の発表に至らなかった事例もみられる。



特別警報の 指標に用いる 基準値	大規模な浸水害を高い確度で適中させるよう指標、基準値を設定	
	中小河川氾濫に起因する大規模な浸水害を適中させるように 流域雨量指数 の指標、基準値を設定	内水氾濫に起因する大規模な浸水害を適中させるように 表面雨量指数 の指標、基準値を設定

洪水キキクル「災害切迫」(黒)の判定に用いる。

浸水キキクル「災害切迫」(黒)の判定に用いる。



- ✓ 大雨特別警報(浸水害)の対象地域を大幅に絞り込んだ発表が見込まれる。
- ✓ 島しょ部など狭い地域への発表も可能となる。
- ✓ 警戒レベル5相当の情報としての信頼度を高め、住民や自治体等の防災対応を強力に支援。

(参考) 改善前の大雨特別警報(浸水害)の発表条件

以下の①又は②を満たすと予想され、かつ、さらに雨が降り続くと予想される地域の中で、洪水キキクル又は浸水キキクルで5段階のうち最大の危険度が出現している市町村等に発表。

- ① 長時間指標 48時間降水量及び土壌雨量指数において、50年に一度の値以上となった5km 格子が、ともに50格子以上まとまって出現。
- ② 短時間指標 3時間降水量及び土壌雨量指数において、50年に一度の値以上となった5km 格子が、ともに10格子以上まとまって出現。

① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組
 ■ 避難行動、水防活動に資する基盤等の整備

○ 防災気象情報の改善(令和4年度実施)

キキクル「黒」の新設と「うす紫」と「濃い紫」の統合

令和4年
6月30日～



警戒レベル4に相当するキキクル(危険度分布)は**紫**です

キキクルの色	警戒レベル
黒 災害切迫	5相当
紫 危険	4相当
赤 警戒	3相当
黄色 注意	2相当
白(水色) 今後の情報等に留意	-

これまでのキキクル	警戒レベル
濃い紫	-
うす紫	4相当
赤	3相当
黄色	2相当
白(水色)	-

特別警報基準値
超過を「黒」で表示

警戒レベル4
の「紫」と一致



「紫」が出現した段階で
速やかに安全な場所に
避難する判断を!



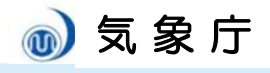
- 質問1) キキクル「黒」が表示されていないければ災害は発生しないの?
 ⇒そうではありません。「黒」は、大雨による災害がすでに発生している可能性が高い状況であり、災害が発生する前にいつも出現するとは限りません。このため、「黒」を待つことなく、「紫」が出現した段階で、速やかに安全な場所に避難することが極めて重要です。
- 質問2) 市町村から発令される避難情報とどう違うの?
 ⇒市町村から避難情報が発令された際には速やかに避難行動をとってください。一方で、多くの場合、防災気象情報は自治体が発令する避難指示等よりも先に発表されます。このため、危険な場所からの避難が必要とされる警戒レベル4に相当する紫や高齢者等の避難が必要とされる警戒レベル3に相当する赤色が出現した際には、避難指示等が発令されていなくても、自主的に避難の判断をすることが重要です。

① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組
■ 避難行動、水防活動に資する基盤等の整備

○ 防災気象情報の改善(令和4年度実施)

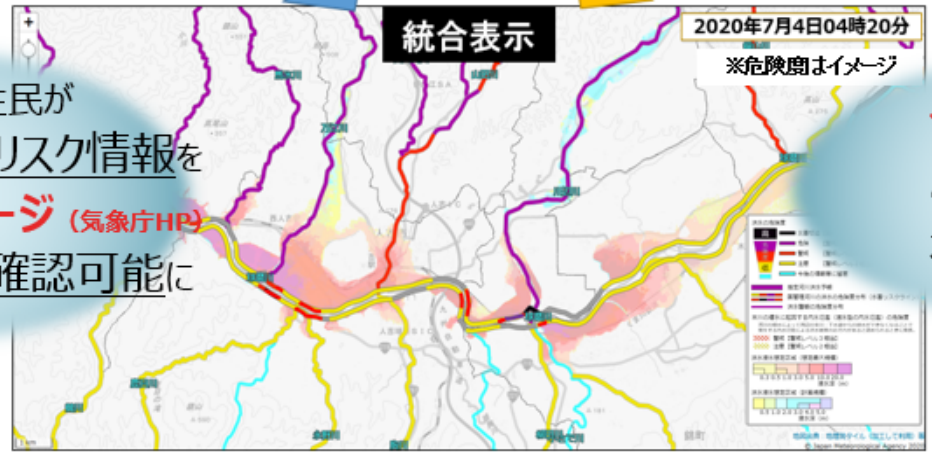
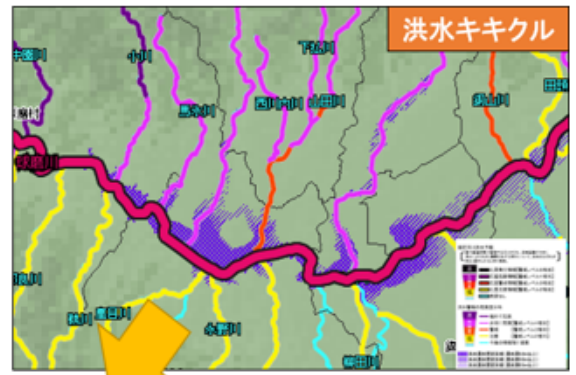
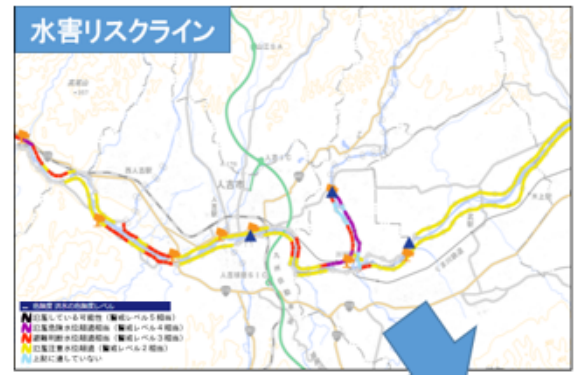
洪水に関する危険度情報の一体的発信

令和5年
2月16日～



「国管理河川の洪水の危険度分布※」
(水害リスクライン)
※ 大川川のきめ細かな越水・溢水の危険度を伝える

「洪水警報の危険度分布※」
(洪水キキクル)
※ 中小河川の洪水危険度を伝える



自治体・住民が
それぞれの詳細なリスク情報を
洪水キキクルページ (気象庁HP)
でワンストップで確認可能に

令和5年
2月16日
運用開始

① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

■ 避難行動、水防活動に資する基盤等の整備

○ 防災気象情報の改善(令和4年度実施)

指定河川洪水予報の氾濫危険情報を予測でも発表

令和4年
6月13日～



改善前

実況水位が氾濫危険水位に到達した場合に、氾濫危険情報を発表。

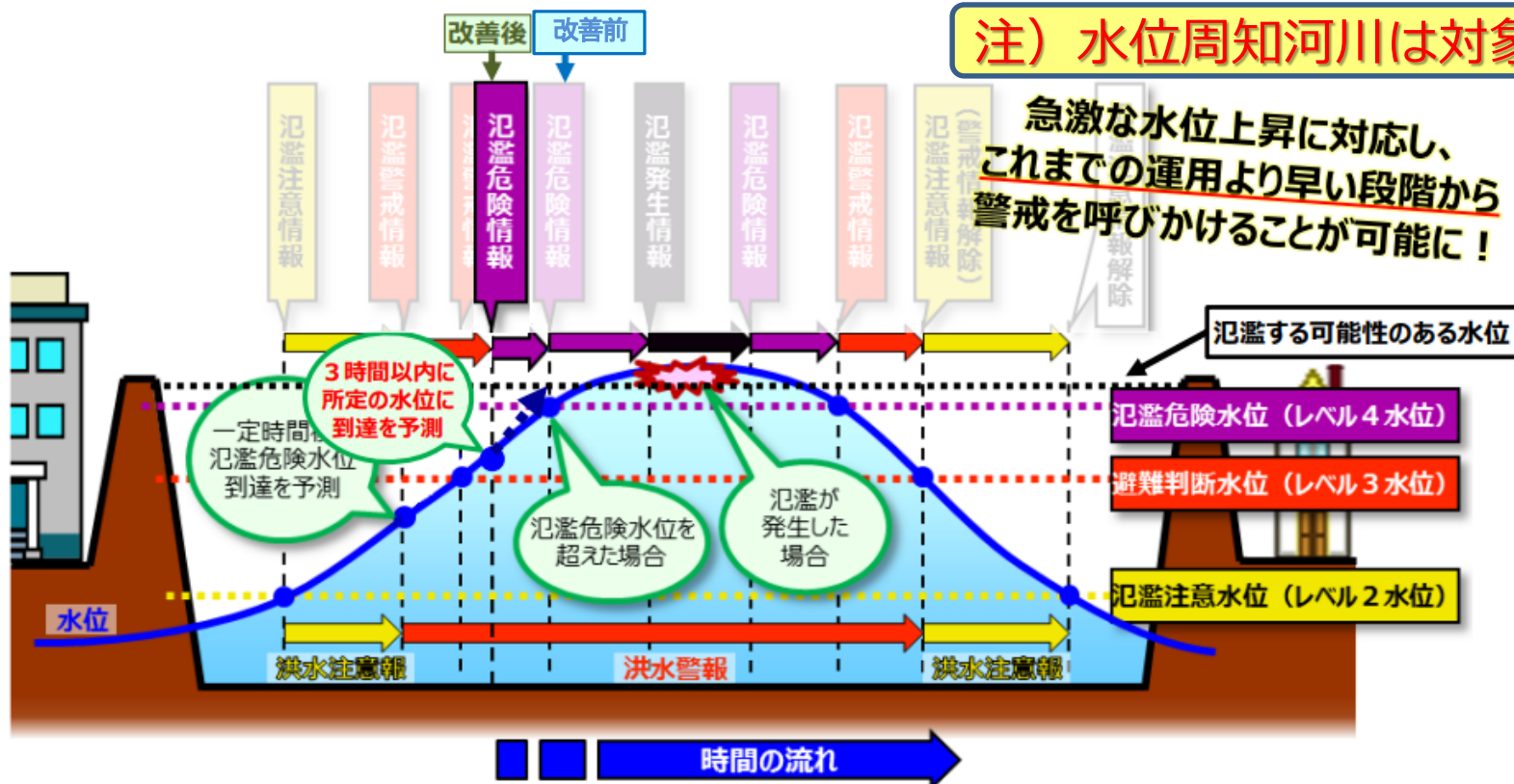
※ 氾濫危険情報：警戒レベル4相当、避難指示の目安

従来の運用に加えて

改善後

水位が急激に上昇し、3時間以内に、氾濫する可能性のある水位に到達する見通しとなった場合は、予測に基づいて氾濫危険情報を発表。

注) 水位周知河川は対象外



① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

■ 避難行動、水防活動に資する基盤等の整備

○ 防災気象情報の改善(令和4年度実施)

令和4年
9月8日～

高潮の早期注意情報(警報級の可能性)を毎日発表



- ▶ 台風が存在する場合にのみ発表していた高潮の警報級の可能性を、早期注意情報(警報級の可能性)として毎日発表(気象庁ホームページの「警報・注意報」に各地の高潮の早期注意情報を掲載)。
- ▶ 早期注意情報において高潮に関する警報級の可能性[高]または[中]が予想されている場合、高潮災害への心構えを高める必要があるとされる警戒レベル1に位置付けられます。

気象庁ホームページでの高潮の早期注意情報の掲載イメージ

✓ 台風が存在するかどうかにかかわらず、毎日、高潮の早期注意情報(警報級の可能性)を発表。

東京都の早期注意情報(警報級の可能性)										
○年○月12日11時 気象庁 発表										
東京地方では、13日までの期間内に[高]及び[中]はない。今後の情報に留意。										
東京都東京地方		12日		13日			14日	15日	16日	17日
		12-18	18-24	00-06	06-12	12-24				
大雨	警報級の可能性	-	-	-	-	-	[中]	[高]	-	-
	1時間最大	15以下	15以下	15以下	15以下	15以下				
	3時間最大	25以下	25以下	25以下	25以下	25以下				
	24時間最大	50以下								
大雪	警報級の可能性	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6時間最大	0	0	0	0	0				
	24時間最大	0								
暴風(雪)	警報級の可能性	-	-	-	-	-	[中]	[高]	-	-
	最大風速	陸上 9以下	9以下	9以下	9以下	9以下				
波浪	警報級の可能性	-	-	-	-	-	[中]	[高]	-	-
	波高	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5				
高潮	警報級の可能性	-	-	-	-	-	[中]	-	-	-

大雨、大雪など他の要素に加える形で提供開始

警戒レベルとの位置づけ

警戒レベル	住民が取るべき行動	気象庁等の情報
5	命の危険 直ちに安全確保! すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いままいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	高潮氾濫発生情報
4	危険な場所から全員避難 過去の重大な災害の発生時に匹敵する状況。この段階までに避難を完了する。 台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	高潮特別警報 高潮警報
3	危険な場所から高齢者等は避難 高齢者等以外の人にも必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	高潮警報に切り替える可能性が高い 高潮注意報
2	自らの避難行動を確認 ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	高潮注意報
1	災害への心構えを高める	早期注意情報(警報級の可能性)

新たに位置づけ

① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

- 想定最大規模降雨における浸水想定区域図に基づくハザードマップの作成・周知等
- 防災教育や防災知識の普及

○ 想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップを用いた出前講座等により、保育園、小学校、自治会などで見かた等を周知



保育園



小学校



自治体

5年10月1日、「みなとテラス」で消防・防災フェア開催(予定)



(令和5年度実施予定)

- 引き続き、保育園、小中学校、自治体への出前講座を継続し、ハザードマップの見方等について周知
- 10月1日、「みなとテラス」において「消防・防災フェア」を開催し、広く市民の防災意識を高揚

① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

- 想定最大規模降雨の浸水想定区域図に基づくハザードマップの作成・周知等
- 防災教育や防災知識の普及

○ 想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップを作成し、各戸・事業所等へ配付

(令和4年度実施状況)

- 令和4年3月に更新。同年4月に市内各戸、交流センター、要配慮者利用施設等にハザードマップを配付
- 出前講座や小中学校の防災学習、ケーブルテレビなどで、ハザードマップの見方について周知



【能義小学校ハザードマップ説明】
 ○日にち 令和4年10月19日(水)
 ○参加者 15名(3、4年生)

想定最大規模版 洪水 土砂災害 令和4年1月作成

やすぎ市民防災マップ 2 十神・社日・島田地区

※ 避難の目安として、浸水想定区域図に基づき、浸水が想定される地域をハザードマップとして作成しました。浸水が想定される地域は、浸水想定区域図に基づき、浸水が想定される地域をハザードマップとして作成しました。浸水が想定される地域は、浸水想定区域図に基づき、浸水が想定される地域をハザードマップとして作成しました。

大 普段の準備と心得

大 Yahoo!防災速報アプリ

大 我が家の防災メモ

住所	電話番号	住所	電話番号

問い合わせ先 安来市役所 防災課 0952-8484 安来市役所防災課(7号2) 電話: 0954-23-3074 E-mail: kousai@city.yasugi.shimane.jp

想定最大規模版 やすぎ市民防災マップ 2 十神・社日・島田地区

凡例

No.1 指定緊急避難場所+指定一般避難所 No.2 一時避難施設 No.3 指定福祉避難所

No.4 指定緊急避難場所 No.5 水防倉庫 No.6 要配慮者利用施設

※ 応じる災害の種類や開設条件については、裏面の避難所一覧で必ずご確認ください。

浸水想定区域 (浸水の深さ)

過去に浸水した中小河川や水路、冠水があった道路、アンダーパス等

10m ~ 20m 未満
 5m ~ 10m 未満
 3m ~ 5m 未満
 1m ~ 3m 未満
 0.5m ~ 1m 未満
 0.3m ~ 0.5m 未満
 ~ 0.3m 未満

浸水継続時間 72 時間以上

(令和5年度実施予定)

- 引き続き、出前講座や小中学校の防災学習などで、ハザードマップの見方について周知
- 次回更新に向けての検討

① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

■ 想定最大規模降雨における浸水想定区域図に基づくハザードマップの作成・周知等

[令和4年度実施状況]

想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップを作成し全戸に配布したほか、市ホームページ上に公開し、継続して住民への周知を行った。

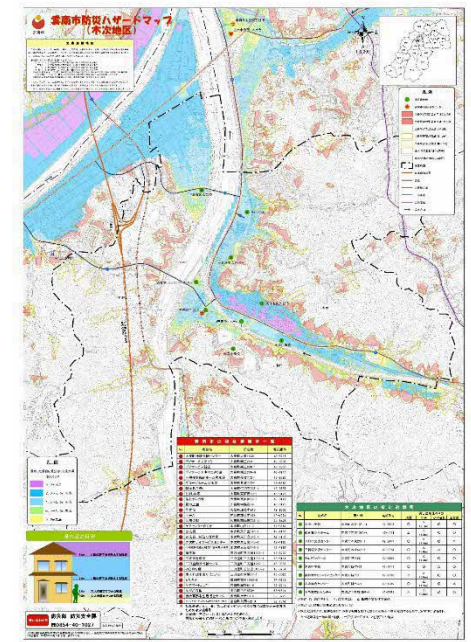
[令和5年度実施予定]

引き続き市ホームページ、出前講座等によりハザードマップの周知を行う。

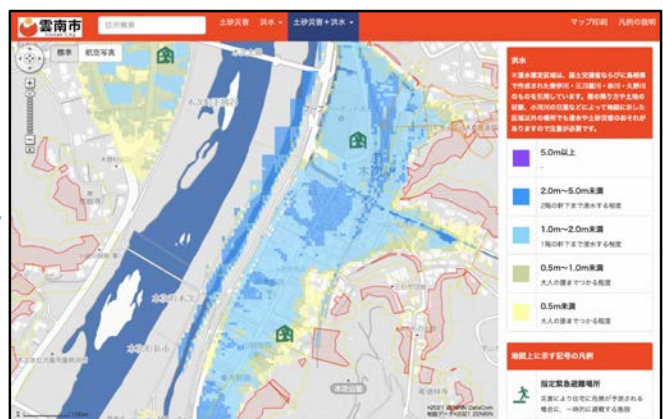
・令和4年3月に雲南市防災ハザードマップを更新。河川の浸水想定区域、土砂災害警戒区域及び特別警戒区域を掲載した各地区毎の大判図を作成し、4月に全戸配布。

・防災に必要な情報を地図に重ねて閲覧することができる「雲南市防災WEB版防災ハザードマップ」を作成し公開。
パソコンやスマートフォンから土砂災害の危険箇所、河川の浸水想定区域、避難所など最新の情報を住宅地図や航空写真に重ねて閲覧することが可能。

雲南市防災ハザードマップ



雲南市防災WEB版ハザードマップ



○ 広域避難体制等の構築

「中小規模の市町村圏域を超えた事前の広域避難に関する取組指針」を策定

広域避難のパターンを整理し、取り決めておくべき事項等基本的な考え方など、市町村の取組推進のための指針として取りまとめ

【広域避難のパターン】

避難の区分	事前の避難		事後の避難(広域一時滞在)
市町村の範囲	特定市町村間	不特定市町村間	
災害の規模	中小規模	大規模	
広域避難の蓋然性	高い	不明(想定しがたい)	高い(被害状況判明後)
事前の取り決め	具体的に取り決め可能	事前の取り決めは困難	

避難元市町村の検討事項	必要性の検討・広域避難者(概数)の把握、避難先市町村候補の選定
避難先市町村との取り決め事項	受入の合意、施設の利用条件、移動手段、避難経路、連絡手段の確保、避難所開設の手順、運営人員の想定、住民への事前周知、避難情報の住民への伝達、物資の支給、資機材の備蓄、費用負担、協定の締結
取組みが望ましい事項	避難場所の情報共有、広域避難場所の確保、避難時間の算定、避難開始時間の設定、訓練、他市町村への応援要請、県外避難の検討、マニュアル類の作成

市町村間の広域避難について合同で訓練を実施(南部町⇒日南町) R4.10.30

南部町大木屋地区の住民16人が、約3km離れた日南町菅沢地区の湖畔センターまで避難
住民の避難イメージ醸成が図られると共に、連絡体制・住民情報の共有等で課題あり
⇒訓練成果に基づき指針の検証及び他市町村へ展開

■ 多様な主体による被害軽減対策

○ 河川管理者、沿川自治体、住民、交通サービス道路管理者等と連携したタイムラインの策定・運用

■ 令和4年度 実施状況

【担当者会議の開催】

○ 日 時：令和4年6月27日（火）

○ 場所等：WEB形式により開催

○ 内 容：

- ・ 斐伊川タイムライン（2022年度版）の内容（2021年度版からの修正箇所）及び運用方法の確認
- ・ 令和4年1月に開催されたタイムライン担当者会議で出された意見に対する方針の確認

○ 日 時：令和5年2月9日（木）

○ 場所等：WEB形式により開催

○ 内 容：

- ・ 令和4年度出水期を振り返っての反省。タイムラインの改善点の抽出。

【令和4年度 タイムラインの運用状況】

・ 斐伊川タイムラインは、平成31年（2019年）3月に策定されて以来、令和元年度は4回、令和2年度は2回、令和3年度は5回、令和4年度は4回運用されました。

・ 令和4年度は、7月前線（1回）、8月前線（1回）、9月台風11号、9月台風14号の計4回で、タイムラインレベル3までの運用でした。

◆ 斐伊川タイムライン
2022版（令和4年4月）



※R3振り返りの意見等を反映

■ 令和5年度 実施予定

【担当者会議の開催】

第1回 令和5年6月頃予定。斐伊川タイムラインの内容、運用方法の確認。

第2回 令和6年1月頃予定。令和5年度の運用状況を振り返り、タイムラインの改善を実施。

○ 「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送の活用促進のための周知

■ 令和4年度 実施状況

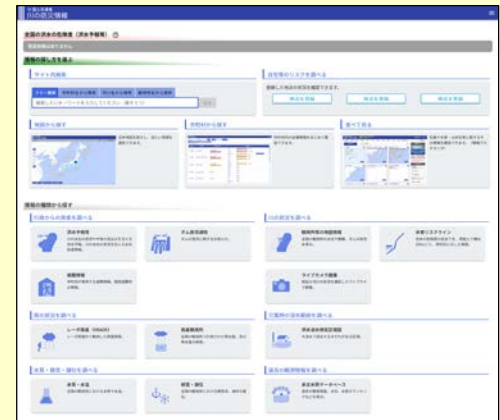
洪水予報連絡会や水防連絡会において、「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送の活用促進のための周知を行いました。

・洪水予報連絡会・水防連絡会：令和4年6月17日 WEBによる開催



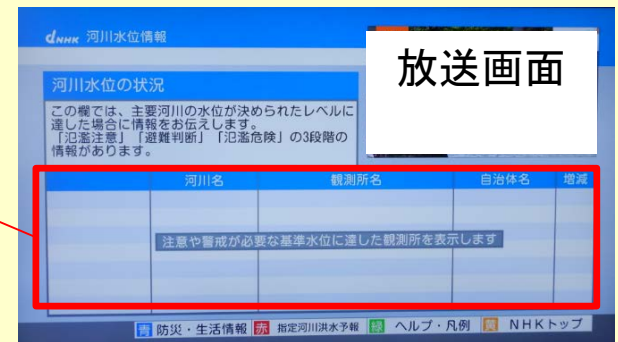
洪水予報連絡会・水防連絡会開催状況 (WEB)

川の防災情報 (情報マルチモニタ)



データ放送 (NHK総合)

基準水位を超過した観測所が表示されます



■ 令和5年度 実施予定

引き続き、関係機関との会議や出前講座等を活用し、情報共有、周知を行います。

① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組
 ■ 防災教育や防災知識の普及、共助の仕組みの強化

○ 小中学校などと連携した中海沿岸の水害の特徴を踏まえた防災教育の普及、充実【中海】

防災意識向上への「防災教育」、河川等の役割を理解してもらう「河川(砂防)学習会」を実施

令和4年度の実施状況

- 【防災教育(土砂災害・ドローン)】 9/30 南部町立会見小学校(5年生38名)
- 【防災教育(洪水・土砂災害・ドローン)】 11/25 米子市立箕蚊屋小学校(5年生52名)
- 【河川(砂防)学習会】 未実施(応募者なし)

令和5年度の予定

防災教育への専門家派遣事業、要請等により継続実施

令和3年度 八郷小(砂防学習会)
 <佐陀川砂防堰堤工事 現場見学>

令和4年度 会見小(防災教育)



令和4年度 箕蚊屋小(防災教育)



ドローン体験



ドローン座学

① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

■ 防災教育や防災知識の普及

○ 小中学校、保育所などと連携した地域の洪水の特徴を踏まえた水害(防災)知識の普及

河川沿いに立地する保育園への出前講座

実施日：令和4年8月24日(木) ←中止

対象：平田保育所 3～5歳児 121名

【出前講座の内容】

○紙芝居「台風がくるぞ」

コロナによりR4中止

○スライド「洪水から命を守るために気を付けること」

避難するときの合言葉「お・は・し・も」について

出前講座の様子



令和3年度実施状況写真を掲載

住民や小学校を対象とした出前講座

実施日：令和4年10月3日(月) 外9回開催

対象：奥出雲町立布勢小学校 4年生 12名 ほか9地区

【出前講座の内容】

○川の災害(内水と外水)について

○避難に必要な情報(警戒レベルやハザードマップなど)の入手方法について

○災害から身を守る(防災)ための情報の入手方法について

出前講座の様子



令和5年度の実施予定：出前講座を継続して実施する。

① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組
 ■ 防災教育や防災知識の普及、共助の仕組みの強化

水害に関する学校教育の取り組み

- 日 時: 令和4年11月11日(金)
- 会 場: 米子市立尚徳小学校
- 対象者: 米子市立尚徳小学校4年生対象

○ 尚徳小学校で、「ひなん計画を作ってみよう」をテーマに令和4年11月11日(金)に授業を行った。
 ○ 大雨時には、どのような危険があるか、どのように避難すればよいのかと問いかけ、児童が活発に意見を出し合った。
 ○ 授業は、米子市が防災教育用に独自に作成した教材を基に、授業を計画し実施した。
 ○ 今後、水害に備え、市内の小学校に展開していくことが望まれる。

取組状況

授業の様子

教材を使っている様子

独自の教材



⇒ 水害・土砂災害に対する正しい知識や避難のタイミングなどを地域防災に関する事務を所管する地域振興部局と連携して啓発していくとともに、教材を活用した防災教育を行い、地域防災力の強化を図っていく。

(令和5年度実施予定)

■ 引き続き、継続して資材を活用しての防災教育等を実施予定

① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組
 ■ 防災教育や防災知識の普及、共助の仕組みの強化

- 小中学校などと連携した斐伊川水系の洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の拡充【斐伊川】
- 小中学校などと連携した中海沿岸の水害の特徴を踏まえた防災教育の普及、充実【中海】

市内小学校等への防災出前授業の実施

出雲河川事務所と共同の防災出前授業



○ 日 時: 令和4年10月4日(火)
 会 場: 城北小学校
 参加者: 4年生74人(3クラス)

防災教育普及のため小中学校へ出前授業を実施している。



○ 日 時: 令和4年9月28日(水)
 会 場: 中央小学校
 参加者: 4年生49人(2クラス)
 (2回に分けて実施)

(令和5年度実施予定)

- 引き続き出雲河川事務所等の関係機関と連携した出前授業を実施
- 引き続き小中学校と連携した出前授業を実施

① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組
 ■ 防災教育や防災知識の普及、共助の仕組みの強化

- 小中学校などと連携した斐伊川水系の洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の拡充【斐伊川】
- 小中学校などと連携した中海沿岸の水害の特徴を踏まえた防災教育の普及、充実【中海】

市内小学校等への防災出前授業の実施

○ 日 時: 令和4年10月19日(水)、11月28日(月)
 12月14日(水)、12月22日(木)
 参加者: 鹿島東小学校5年生7人が4講座受講

○ 日 時: 令和4年9月28日(水)
 参加者: 島根大学附属義務教育学校後期課程
 中学3年生8人

○ 日 時: 令和4年10月21日(金)
 参加者: 八束学園 中学3年生36人

○ 日 時: 令和4年10月27日(木)
 参加者: 佐太小学校 4年生17人

防災教育普及のため小中学校へ出前授業を実施している。

10月27日(木)佐太小4年生授業の様子



(令和5年度実施予定)

○ 引き続き小中学校と連携した出前授業を実施

① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組
■ 防災教育や防災知識の普及、共助の仕組みの強化

- 学校、地域、企業等を対象とした防災学習・防災講座を実施した。
- 外国人住民に向けに通訳を介した防災学習・防災講座を実施した。

◆ 令和4年度実績 32件



左：出雲市立遙堪小学校における防災学習



右：外国人住民向け防災学習

(令和5年度予定)

⇒引き続き、機関等と連携しての防災学習に関する出前講座を実施する。

① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組
 ■ 防災教育や防災知識の普及、共助の仕組みの強化

○ 小中学校などと連携した中海沿岸の水害の特徴を踏まえた防災教育の普及、充実

(令和4年度実施状況)

■ 小中学生を対象に出前講座を実施

能義小学校

- 日にち: 令和4年10月19日(水)
- 会 場: 安来市役所防災対策室
- 参加者: 3, 4年生・教諭 / 約17人
- 内容: 防災知識の学習、施設見学など

防災学習の様子



安来第二中学校

- 日にち: 令和4年11月30日(水)
- 会 場: 安来市役所会議室
- 参加者: 1年生・教諭 / 約30人
- 内容: 防災知識の学習、施設見学など

防災学習の様子



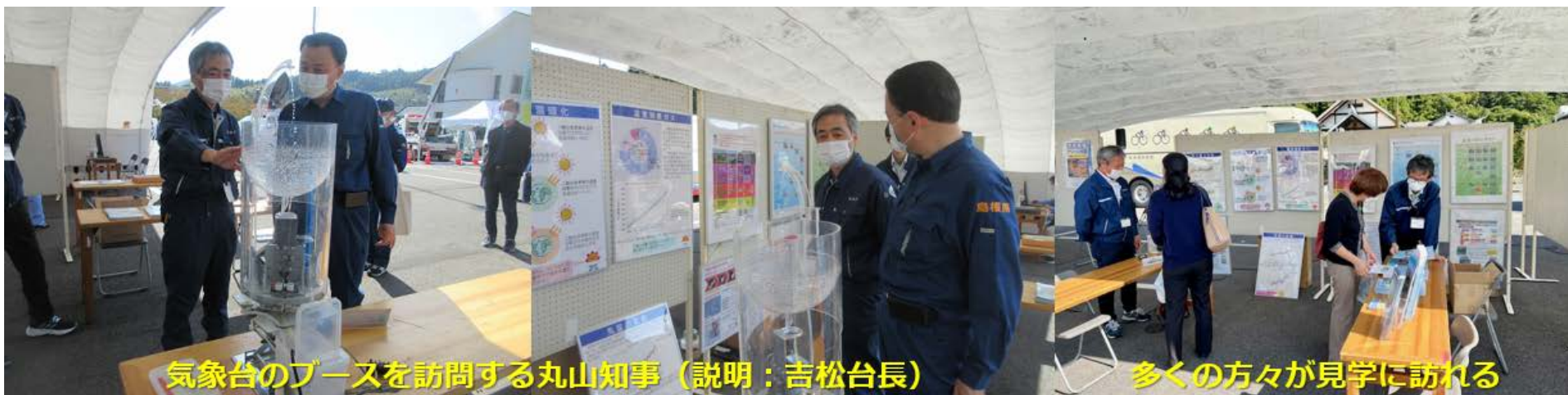
(令和5年度実施予定)

■ 引き続き、小中学生を対象とした出前講座を実施

① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組
 ■ 防災教育や防災知識の普及、共助の仕組みの強化

- 住民の水防災意識の向上に資するイメージ動画等のツールを活用した、より実践的な防災教育の実施(斐伊川)
- 住民の水防災意識の向上に資する出前講座等を活用した防災知識の普及(中海)
 (R5年度も継続実施)

「島根県総合防災訓練」において 展示ブースを開設



気象台のブースを訪問する丸山知事（説明：吉松台長）

多くの方々が見学に訪れる

10月16日に隠岐の島町で開催された「島根県総合防災訓練」に参加 広く一般住民に向け防災に関する展示・解説を実施

- ・ 雨量計のカットモデルを展示し、構造・観測原理等を説明。
- ・ 気象庁が発表する様々な防災気象情報について、説明パネルを掲示。
 パンフレットを配布し、防災知識の普及・啓発を行い、住民の防災意識向上に寄与。

- ① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組
 ■ 防災教育や防災知識の普及、共助の仕組みの強化

○ 防災出前講座や避難所運営ゲーム(HUG)の実施

自治会等への防災出前講座

令和4年度実施実績 48回

住民の防災意識の向上を図るため、依頼のあった自治会、事業所等へ出前講座を実施している。

出前講座の様子

実施日：令和4年9月4日（日）
 対 象：島根地区住民等 96名



防災研修会

実施日：令和4年7月8日（金）
 対 象：島根中学校 3年生 21名



避難所運営ゲーム（HUG）の実施

（令和5年度実施予定）

○引き続き、自治会・事業所等へ出前講座や避難所運営ゲーム(HUG)を実施

① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組
 ■ 防災教育や防災知識の普及、共助の仕組みの強化

[令和4年度実施状況]

避難情報、POTEKAによる気象観測情報の提供(6時間先までの雨量予測等)のほか、様々な防災情報を配信し、住民主体の避難行動を支援した。

[令和5年度実施予定]

令和5年度においても引き続き情報配信を行い、住民主体の避難行動を支援する。

安全・安心

雲南警察署からのお知らせ

消防本部からのお知らせ

避難情報(避難指示等)

河川水位計(国・県)

雨量計(国・県)

ポテカ(気象情報)

土砂災害危険度情報(県)

情報カメラ

安全安心メール

4月8日(金) 10:20



普段使い慣れているケーブルテレビのデータ放送を活用し、気象情報、河川水位、情報カメラなど、各種防災情報の配信を行った。

河川水位計(国・県)

2022年04月08日 09時40分

河川	雲南		伊予		久野		三刀屋	
	西日登	木次	新伊登	日の出橋	掛合大橋	坂山橋		
最新前夜水位	1.60	2.50	2.50	1.50	1.50	1.80		
前々前夜水位	2.70	3.50	3.40	2.20	2.60	2.20		
前々前々夜水位	3.70	4.20	4.30	2.70	---	2.40		
前々前々々夜水位	4.50	4.80	5.00	2.90	---	2.90		
04/08 09:40	0.05	1.44	0.59	0.53	0.01	0.81		
09:30	0.05	1.44	0.59	0.53	0.01	0.81		
09:20	0.05	1.44	0.59	0.53	0.01	0.81		
09:10	0.05	1.44	0.59	0.53	-0.01	0.81		
09:00	0.05	1.44	0.59	0.53	0.01	0.81		
08:50	0.05	1.44	0.59	0.53	0.01	0.81		

(単位:m)

1/4 次の時間(↓) 1/2 次の河川(→右)

ポテカ(気象情報)



表形式で表示

- 天気
- 気温
- 湿度
- 雨量
- 連続雨量
- 暑さ指数
- 風向
- 気圧

ポテカ(気象情報)

風速 気温℃ 雨量mm/h 連続雨量mm
 風向 35以上 50以上 150以上
 31以上35未満 30以上50未満 100以上150未満

地図形式で表示

観測時刻	阿用				久野				海潮			
	気温(℃)	湿度(%)	雨量(mm)	連続雨量(mm)	気温(℃)	湿度(%)	雨量(mm)	連続雨量(mm)	気温(℃)	湿度(%)	雨量(mm)	連続雨量(mm)
※)04/08 15:00	16.3	45.3	0.0	---	14.9	49.0	0.0	---	14.8	47.5	0.0	---
※)04/08 14:00	16.6	46.3	0.0	---	15.2	50.7	0.0	---	15.0	48.6	0.0	---
※)04/08 13:00	16.7	49.0	0.0	---	15.4	52.6	0.0	---	15.2	51.4	0.0	---
※)04/08 12:00	16.5	51.2	0.0	---	15.2	54.5	0.0	---	15.1	54.5	0.0	---
※)04/08 11:00	15.8	54.5	0.0	---	14.5	54.1	0.0	---	14.6	57.8	0.0	---
※)04/08 10:00	14.7	59.6	0.0	---	12.9	62.1	0.0	---	13.9	61.4	0.0	---
04/08 09:00	15.2	61.0	0.0	0.0	12.1	58.5	0.0	0.0	14.0	52.1	0.0	0.0
04/08 08:00	13.8	67.9	0.0	0.0	10.0	69.5	0.0	0.0	12.4	58.9	0.0	0.0
04/08 07:00	12.6	75.7	0.0	0.0	9.6	73.3	0.0	0.0	11.1	68.8	0.0	0.0
04/08 06:00	11.1	85.9	0.0	0.0	9.1	77.5	0.0	0.0	10.8	70.0	0.0	0.0

時刻切替 1/6 1/5

情報カメラ(河川)(斐伊川)

4月8日(金) 10:26



国交省出雲川河川事務所/島根県

- 尾原ダム(上流付近)
- 湯村(漆仁橋付近)
- 木次(西日登)
- 木次(藤上橋付近)
- 木次(里熊大橋付近)
- 三刀屋(伊登三代橋付近)

① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

■ 防災教育や防災知識の普及、共助の仕組みの強化

○ 住民の水防災意識の向上に資するイメージ動画等のツールを活用した、より実践的な防災教育の実施

[令和4年度実施状況]

自主防災組織で実施された防災訓練や外国人住民向け防災研修会において出前講座を実施した。

[令和5年度実施予定]

引き続き自主防災組織や自治会等を対象とした出前講座を実施する。



① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組
 ■ 防災教育や防災知識の普及、共助の仕組みの強化

○ 中海沿岸の水害リスクを踏まえ、商工会議所等と連携した企業向け水害(防災)教育及び大規模氾濫を想定した自衛水防の講習会や訓練の実施

(令和4年度実施状況)

■ 商工会議所・商工会を通じて会員企業への啓発活動を実施

【概要】

- 時期: 令和4年5月
- 内容: 啓発チラシを会員企業へ配布
- 件数: 安来商工会議所会員 / 約800件、安来市商工会会員 / 約300件

安来市から発令される避難情報

【警戒レベル3】災害のおそれあり

高齢者等避難

【警戒レベル4】災害のおそれ高い

避難指示

【重要】メール本文内に記載されたURLを必ずご確認ください。

【ヤフー防災アプリケーション】「Yahoo!防災速報」のアプリをダウンロードして、地域に「安来市」を登録、又は位置情報の利用をオンにして、市が配信する防災緊急情報をプッシュ通知にて受け取ることができます。(令和2年1月10日より配信開始)

【行政告知端末やどじょこテレビ】行政告知端末やどじょこテレビ・安来市HPなどで防災情報をお伝えします。

【お問い合わせ先】 安来市 役所 防災課 電話:0854-23-3074 FAX:0854-23-3152

(令和5年度実施予定)

■ 引き続き、商工会議所や商工会を通じて会員企業への啓発活動を実施

① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組
■ 防災教育や防災知識の普及、共助の仕組みの強化

○ 中海沿岸の水害リスクを踏まえ、商工会議所等と連携した企業向け水害(防災)教育及び大規模氾濫を想定した自衛水防の講習会や訓練の実施

(令和4年度実施状況)

■ 企業向けの出前講座を実施

- 日にち: 令和4年6月17日(金)
- 会場: アクアシステム(株)社屋
- 参加者: 約40人
- 内容: 災害に対する個人の備えや企業としての備え、ハザードマップの見方などについて説明



(令和5年度実施予定)

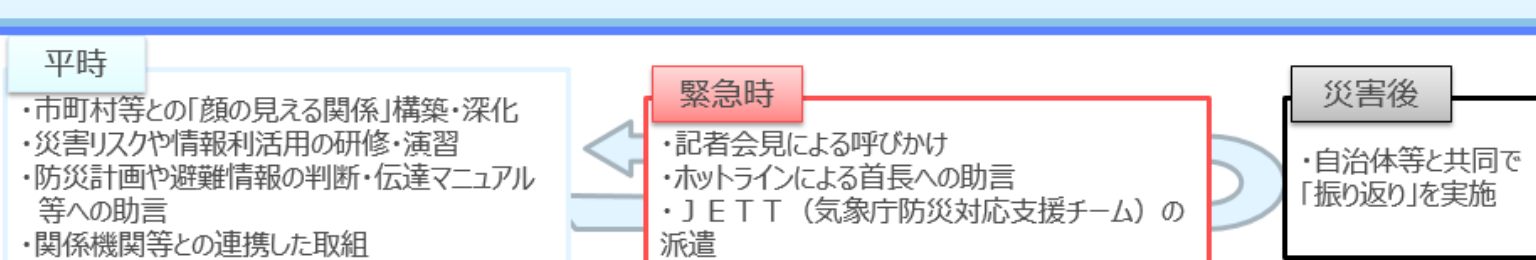
■ 引き続き、企業向けの出前講座を実施

① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組
 ■ 防災教育や防災知識の普及、共助の仕組みの強化

- 地域防災力向上のための人材育成(斐伊川)
- 市長に対し助言を行う者の育成・派遣(中海)

(R5年度も継続実施)

地域防災支援の強化—あなたの町の予報官(担当チーム)の取組



「あなたの町の予報官」による地域防災支援業務を強化

島根県を複数の市町村からなる3つの地域に分け、地域毎の災害特性を踏まえた地域専任の担当チーム「あなたの町の予報官」を編成。担当チームの常設により、各市町村固有の課題への対応を含め市町村に寄り添い、担当者同士の緊密な連携関係を構築し、さらに深化させていきます。

【松江地方気象台の担当チーム編成】

松江・出雲・雲南
チーム



隠岐・県央
チーム



浜田・益田
チーム



積極的に J E T T を派遣



【島根県災害対策本部会議へ派遣】

令和3年は、7月に梅雨前線、8月には台風第9号と停滞前線により、県内各地で大雨となり、甚大な災害が発生しました。このため、島根県災害対策本部会議に職員を派遣、常駐して、気象解説を実施しました。令和3年度の派遣は17事例。

気象防災ワークショップの推進

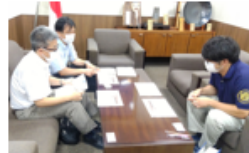


【Web会議で隠岐合同のワークショップ開催】

県内自治体防災担当職員を対象に、気象情報の利用方法などをより理解していただき、防災対応能力の向上を目的として、土砂災害編、水害対策編の気象防災ワークショップをWeb会議ツールを用いて実施しました。令和3年度までに18市町村で実施。令和4年度は出水期前に実施しました。

「振り返り」の業務改善への活用

・災害時等の対応を振り返り、平時・緊急時の業務へフィードバック



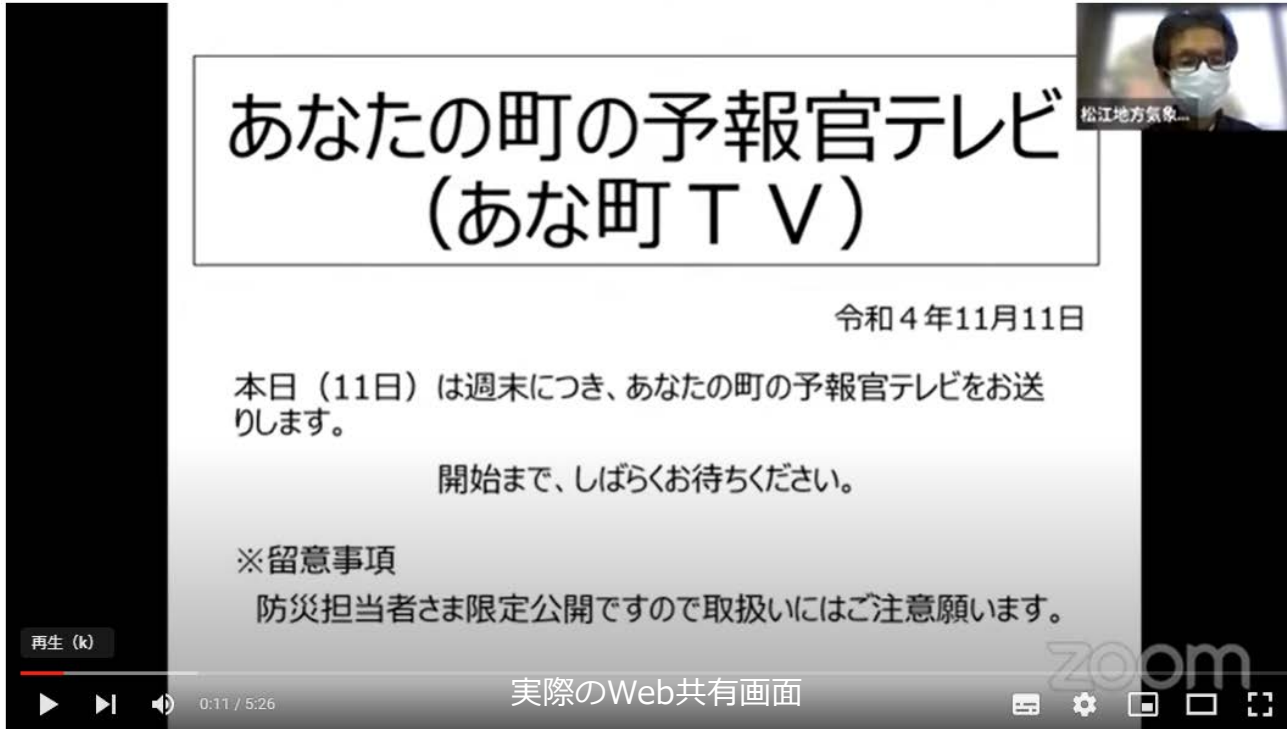
令和3年は、梅雨前線や台風等により、県内各地で大雨となり、甚大な災害が発生しました。このため、県内全市町村担当者と共同で、振り返りを実施し、避難状況や活動を把握するとともに気象台への提案やニーズについて意見交換を実施しました。

※あな町TV = 気象台による防災気象情報の解説 (Web)

- ① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組
■ 防災教育や防災知識の普及、共助の仕組みの強化

- 地域防災力向上のための人材育成(斐伊川)
○ 市長に対し助言を行う者の育成・派遣(中海)

あなたの町の予報官テレビ (R5年度も継続実施)



あなたの町の予報官テレビ
(あな町TV)

令和4年11月11日

本日(11日)は週末につき、あなたの町の予報官テレビをお送りします。

開始まで、しばらくお待ちください。

※留意事項
防災担当者さま限定公開ですので取扱いにはご注意願います。

再生 (k)

0:11 / 5:26

実際のWeb共有画面

zoom

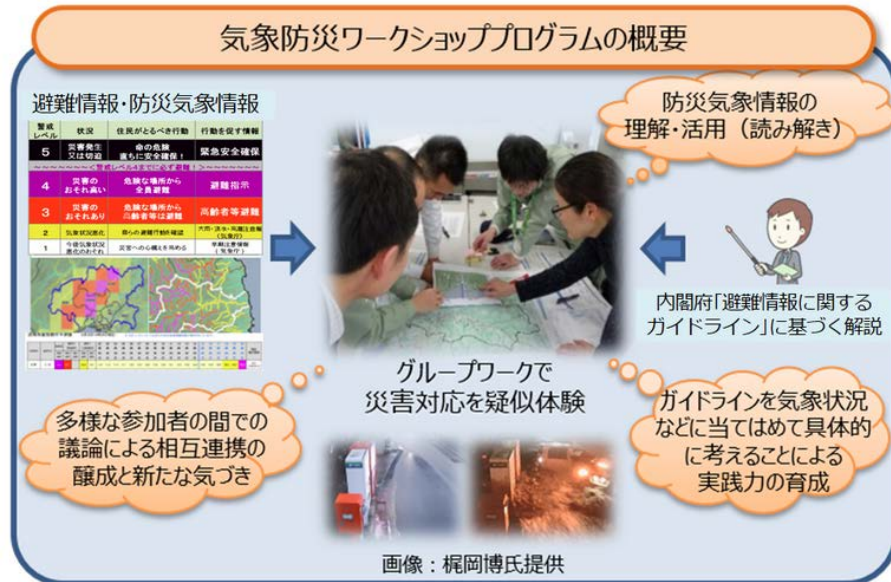
市町村防災担当者向けに、「あなたの町の予報官テレビ」と題した情報提供コンテンツを、毎週金曜日夕方に「youtube」にて配信。週末にかけて、県内の気象に関する留意点等を動画にて平易に解説(異常気象が見込まれる際は、随時配信)。
併せて平日は、毎日16時に「防災メール」を配信し、きめ細かく防災対応を支援。43

① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組
 ■ 防災教育や防災知識の普及、共助の仕組みの強化

- 地域防災力向上のための人材育成(斐伊川)
- 市長に対し助言を行う者の育成・派遣(中海)

市町村防災担当者向け「気象防災ワークショップ」を開催

(R5年度も継続実施)



【場面1】

【検討】 30日 5:19

残り時間 10 5 3

入手した「防災気象情報」等の内容を確認し、次の点について検討してください。

- ① すぐに「警戒レベル3、高齢者等避難」を発令する必要があるか。
 - 検討結果を町長に説明することを想定して、理由も整理しておいてください。
- ② 今後どのような情報に特に注意するか？

検討結果を、ワークシートに記入してください。
 (検討時間10分)

34

- ・ 土砂災害・洪水災害が発生するおそれがある状況を想定し、気象台等から発表される様々な情報を参照しながら、グループワークを実施。
- ・ 各種防災気象情報への理解・有効活用とともに、体制強化や避難情報発令のタイミングなどに関する検討を行い、判断のポイントを学んでいただくことによって地域防災対応力の向上を支援。

○地域防災力向上のための人材育成

【令和4年度 避難行動要支援者・個別避難計画実務研修】

1. 日時 令和4年9月1日(木)・2日(金)
2. 場所 松江テルサ・浜田ワシントンホテルプラザ
3. 受講者 市町村職員、社会福祉協議会、自主防災組織、民生委員等 約110名
4. 内容 講義「個別避難計画の作成と活用に向けた取り組み」
県内市町村による事例紹介、意見交換会(グループワーク)
5. 講師 一般社団法人兵庫県社会福祉士会 西野事務局長 他

＜令和5年度実施予定＞
調整中



【令和4年度 島根県自主防災組織リーダー研修】

1. 日時 令和4年11月12日(土)～13日(日)
2. 場所 島根県浜田合同庁舎
3. 対象 自主防災組織構成員、自治会関係者 48名
4. 内容 災害史、防災気象情報の利活用(松江地方气象台)
ワークショップ、まちあるき・災害図上訓練 他
5. 講師 静岡大学防災総合センター 牛山教授、山口大学大学院 瀧本准教授 他

＜令和5年度実施予定＞
令和5年11月25日(土)～26日(日)
サンラポーむらくも(松江市)



【令和4年度 島根県防災士養成研修】

1. 日時 令和4年5月14日(土)～15日(日)
2. 場所 いわみーる(浜田市)
3. 受講者 54名
4. 内容 防災に関する各種講義、救急救命講習、防災士資格取得試験
5. 講師 NPO法人日本防災士会 宮永理事 他

＜令和5年度実施予定＞
令和5年6月3日(土)～4日(日)
令和5年11月11日(土)～12日(日)
島根県職員会館(松江市)



- ① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組
■ 防災教育や防災知識の普及、共助の仕組みの強化

○ 地域防災リーダーの育成

松江市では地域の防災リーダーの担い手として、地域防災指導員設置要綱を制定し、現在90名に委嘱状を交付している。

また、地域防災リーダーを増やすため防災士資格取得の支援、研修会の開催等を実施している。

◆ 防災士の資格取得を支援

防災士の資格取得に係る経費を補助(受講料など)

< 資格取得実績 >

令和3年度 1人取得

令和4年度 7人取得

(令和5年度実施予定)

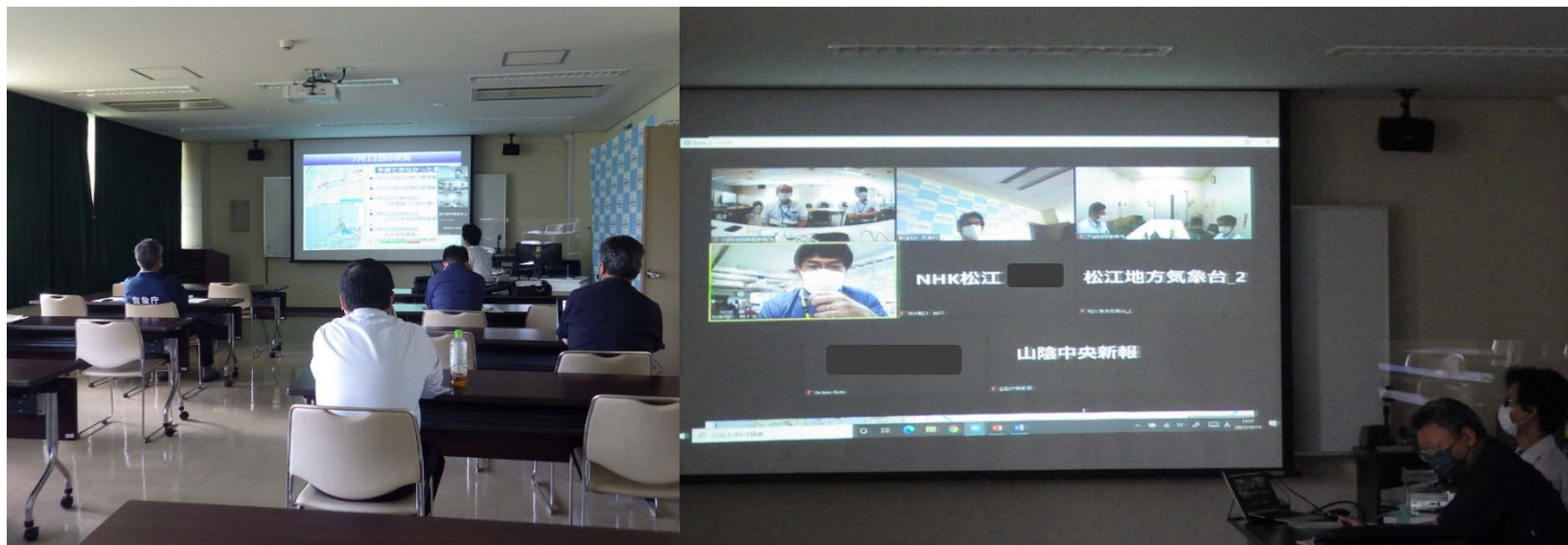
○ 引き続き、防災士の資格取得支援、研修会の開催等を実施

- ① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組
 ■ 防災教育や防災知識の普及、共助の仕組みの強化

○ 報道機関との連携

報道機関との懇談会を定期的 to 開催 (R5年度も継続実施)

- Web会議ツール「Zoom」を利用した「報道機関との懇談会」を鳥取地方気象台及び島根・鳥取両県内の河川・国道事務所と共同開催
- 水害をはじめとする防災知識の普及・啓発・周知について連携を強化
- Web開催により 放送局・新聞社等広域かつ多数の機関を同時に結んだ効果的・効率的な連携を実現
- 雪害等もテーマに、出水期に限らず通年で開催



【開催実績と気象台からの話題提供】

- 第4回 令和4年 5月31日 「令和4年度 防災気象情報の改善について」「山陰の気象特性（出水期）と季節予報」
 第5回 令和4年12月 9日 「気象庁HPの見方について」「山陰の冬の天気と今冬の予想について」

○ 報道機関との連携

◆ 報道機関と松江地方気象台、出雲河川事務所、浜田河川国道事務所との合同懇談会を開催

地域住民に情報を提供している新聞・テレビ・ケーブルテレビ、コミュニティFM等の特性を活かし、住民が行動を起こすことにつなげるため、報道機関との懇談会を実施

■ 令和4年度 実施状況

◆ 開催状況

(第1回)

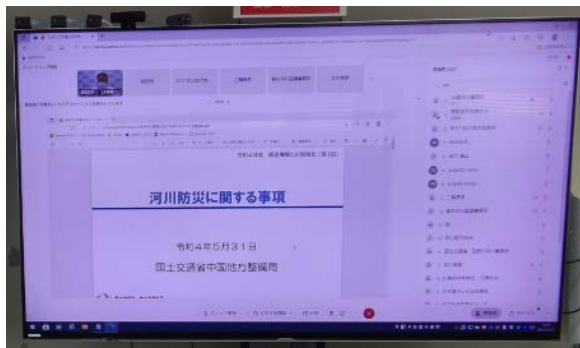
○ 日時: 令和4年5月31日(火)

○ 場所等: Web会議

○ テーマ

- ・「河川防災に関する事項」
- ・「防災気象情報の改善について」

※ 令和4年度は鳥取県内の国土交通省と気象台も合同で開催。



令和4年5月31日 報道機関と松江地方気象台との合同懇談会(Web会議)

■ 令和5年度 実施予定

引き続き懇談会を開催し、情報共有を行う

(第1回)

○ 日時: 令和5年6月頃開催予定

① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組
 ■ 防災教育や防災知識の普及、共助の仕組みの強化

○ 災害リスクの現地表示(まるごとまちごとハザードマップ)

想定浸水深表示板設置の推進

「ハザードマップの見える化」により、水害意識の向上・防災情報の更なる周知を進める。

・市町村と連携し、公民館などの公共施設等に設置

※ 県が浸水表示板を提供、町が設置

■ 南部町	令和2～4年度	32箇所	設置完了
■ 米子市	令和3年度	1箇所	設置完了
■ 日吉津村	令和4年度	18箇所	設置完了
■ 伯耆町	令和5年度～		設置予定



令和2～4年度 南部町



令和3年度 米子市



令和4年度 日吉津村



① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

- 避難行動、水防活動に資する基盤等の整備
- 住民一人ひとりの避難計画(マイ・タイムライン)の作成支援

○ 災害をより「自分事」として捉え適切な避難行動につなげるため『よなご避難ノート』を作成配布

米子市では令和4年度に避難ノートを作成し、令和5年3月下旬に市内の全世帯(約47,000世帯)に配布を実施。マイ・タイムラインについても掲載、周知活用を行う。



マイ避難シート(タイムラインシート)



(令和5年度実施予定)

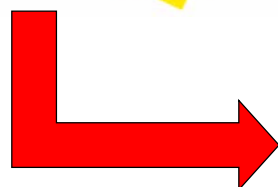
- 公共施設等での配布の実施及びノートを活用しての啓発研修などを予定している

家族構成、連絡先、非常持ち出品チェックシート

① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組
■ 防災教育や防災知識の普及、共助の仕組みの強化

○ 住民一人ひとりの避難計画(マイ・タイムライン)の作成支援

松江市では令和2年度に全戸配布した防災ガイドブックにマイ・タイムラインに関する項目を掲載。出前講座等で防災ガイドブックを活用し、マイ・タイムラインについて周知等を行っている。



防災ガイドブック
27、28頁

② マイ・タイムラインの作成

避難指示などが発令されたとき、
“自分だけは大丈夫”と思ったことはありませんか？
いざというときにあわてずに行動するために、いつ、何をやるのかを整理しておきましょう。
それが、マイ・タイムラインです。
家族でよく話し合って、マイ・タイムラインをつくってみましょう。

作成例

いざという時にどう動く？

まつえマイ・タイムライン

自宅の危険度

洪水浸水予想	土砂災害警戒区域	津波浸水予想	私の避難場所は、
m	○	m	です。

レベル	1	2	3	4	5
早期注意	注意情報	避難準備	避難指示	災害発生	
情報					
避難準備					
避難指示					
災害発生					

家族全員の行動を考えておきましょう！

まつえマイ・タイムライン

自宅の危険度

洪水浸水予想	土砂災害警戒区域	津波浸水予想	私の避難場所は、
m	○	m	です。

レベル	1	2	3	4	5
早期注意	注意情報	避難準備	避難指示	災害発生	
情報					
避難準備					
避難指示					
災害発生					

携帯を充電

ガソリンを入れる

コロンを記入

避難準備

避難開始

持ち出し品

自宅の2階

避難・見守り

防災グッズ

(令和5年度実施予定)

○引き続き出前講座等で防災ガイドブックを活用し、マイ・タイムラインについての周知を実施

① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組
 ■ 防災教育や防災知識の普及、共助の仕組みの強化

○ 住民一人ひとりの避難計画(マイ・タイムライン)の作成支援

■ マイ・タイムライン

マイ・タイムラインとは住民が一人ひとりのタイムライン(防災行動計画)であり、台風等の接近による大雨によって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、自ら考え命を守る避難行動のための一助とするものです。

その検討過程では、市区町村が作成、公表した洪水ハザードマップを用いて、自らの様々な洪水リスクを知り、どのような避難行動が必要か、また、どのようなタイミングで避難することがよいのかを自ら考え、さらには、家族と一緒に日常的に考えるものです。

■ 令和4年度 マイ・タイムライン作成支援状況

マイ・タイムラインを住民が自ら作成するための支援、普及のため、流域の小学生に対して、斐伊川や神戸川の水害リスクや防災情報と合わせて、マイ・タイムラインの目的や検討・作成方法について出前講座で説明を行いました。

- ・ 日時：令和4年9月27日(火)
- ・ 場所等：大橋川コミュニティセンター
- ・ 対象者：城北小学校

令和4年9月27日 出前講座(城北小学校)



出雲河川事務所HPにマイタイムライン作成ツールを掲載



マイ・タイムライン検討ツール

■ 令和5年度 実施予定

引き続き、出前講座等で説明を行い、マイタイムラインの普及に努める。

① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組
■ 防災教育や防災知識の普及、共助の仕組みの強化

○ 避難情報や防災情報等を活用した住民参加型の避難訓練の実施

松江市では防災訓練を地区主体で実施するが、その際に参加し、研修での講師を務めるなどの支援を実施している。
また、それに加え、昨年度に引き続き上下水道局と連携し、揖屋地区の防災訓練を実施した。

城西地区防災訓練

実施日：令和4年6月1日（水）

会場：城西公民館

参加者：城西地区住民約25名



揖屋地区防災訓練

実施日：令和4年11月26日（土）

会場：揖屋小学校

参加者：揖屋地区住民 約40名



(令和5年度実施予定)

○ 引き続き、地区主体の防災訓練に参加する等の支援を実施

① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組
■ 防災教育や防災知識の普及、共助の仕組みの強化

避難情報や防災情報等を活用した
住民参加型の避難訓練の実施

(令和4年度実施状況)

地区防災訓練へ職員を派遣し、
地区災害対策本部と連携した防
災訓練を実施した。

9月1日の出雲市防災訓練では、
住民参加による避難訓練を実施
した。

(令和5年度実施予定)

引き続き地区災害対策本部と連携
し防災力を高める。



① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組
 ■ 防災教育や防災知識の普及、共助の仕組みの強化

○ 避難情報や防災情報等を活用した住民参加型の避難訓練の実施

(令和4年度実施状況)

■ 自主防災組織等と連携して、新型コロナウイルス感染症対策を講じた避難所開設・運営訓練を実施

- 実施日: 令和4年10月29日(土)
- 会場: 安来南体育館
- 参加者: 安来二中校区自主防災組織、消防団など約50人
- 内容: 避難所の開設・運営、資機材の組み立て・操作方法習得、消火訓練



(令和5年度実施予定)

■ 引き続き、住民参加型の避難訓練を実施

- ① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組
 ■ 防災教育や防災知識の普及、共助の仕組みの強化

支え愛マップの主な取り組み

支え愛マップの取り組み支援等について、次のような取り組みを実施している。

① 支え愛マップづくりインストラクター養成研修

【対象者】市町村社会福祉協議会職員、市町村職員

【内容】市町村及び社協職員等を対象とした研修会を実施し、マップづくりの意義やノウハウを学び、各地区においてマップづくりを広めることで災害に強い地域づくりを推進する。今年度も開催。

【R4実績】ハイブリット開催（オンラインを基本に、会場参加も併用）。[8/1、8/22、9/8]

② 支え愛マップづくりの取組状況

【目標】40地区

【R4実績（R5年3月16日時点）】新たに43地区が作成

③ その他

【取組み時に活用いただきたい動画】～コロナ禍における支え愛マップづくり～（県社協作成）

https://youtu.be/4ByGD_J2V_o（YouTubeにて公開）

取組状況

支え愛マップ作成状況



支え愛マップ完成



救急救命が必要な場合を見越しての訓練状況



■ 令和5年度 実施予定

⇒ 支え愛マップづくりに際し、水害・土砂災害に対する安全な避難場所等の確保などを防災部局・土木部局が連携して助言するとともに、マップを活用した訓練を行い、地域防災力の強化を図っていく。 56

防災士の資格取得経費への助成

自主防災組織の防災力向上及び活性化を図るため、地域における自主防災組織に参画している方又は参画することが見込まれる方に資格取得に係る経費（認証登録料及び教本代）の助成を行っている。

（令和4年度実施状況）

防災士の資格取得経費を助成した。

令和4年度助成実績 5名

（令和5年度実施予定）

引き続き、防災士の資格取得経費を助成する。

- ②天井川や湖沼の氾濫特性に応じた効果的な水防活動の実施(斐伊川)
- ②中海の浸水特性に応じた効果的な水防活動及び施設運用の取組(中海)
- 水防活動の効率化及び水防体制の強化

○出水期までに、県、市の担当者や災害応急対策活動等に関する基本協定締結業者等が参加する重要水防箇所の合同点検を実施

- 洪水に対しリスクの高い区間である重要水防箇所を点検(視察)
- 各市毎にマイクロバスで移動し、現地において重要水防箇所を確認
- 現地にて重要水防箇所の評定基準等の説明

【令和4年度】

重要水防箇所の合同点検(視察)

開催日：令和4年6月20日(月)～6月23日(木)

6月20日	安来市管内
6月21日	米子市管内
6月21日	境港市管内
6月22日	松江市管内
6月23日	雲南市管内
6月23日	出雲市管内

【令和5年度】

出水期までに合同点検を実施する予定



安来市 (R4年6月20日)



出雲市 (R4年6月23日)

②天井川や湖沼の氾濫特性に応じた効果的な水防活動の実施
 ■水防活動の効率化及び水防体制の強化

○斐伊川水防演習と合わせて、水防専門家を講師とした水防工法の講習会を実施予定であったが、令和2～4年度はコロナウィルス感染拡大防止のため開催を中止した。
 ○令和5年度は6月4日(日)に水防訓練を実施予定。

令和5年度 斐伊川水防訓練(出雲市) ※令和2～4年度はコロナウィルス感染拡大防止のため開催を中止

日 時: 令和5年6月4日(日)9:00～12:00
 開催場所: 出雲市武志町地先(斐伊川河川敷公園下流)
 内 容: 被害を最小限にとどめるための水防活動において必要となる代表的な水防工法の習熟を重点に訓練を行います。
 訓練工法: 月の輪工、シート張り工、木流し・竹流し工、積み土のう工、改良積み土のう工、釜段工

【参加機関】

- ・出雲市水防団
- ・松江市消防団(水防隊)
- ・雲南市水防団
- ・出雲市
- ・松江市
- ・雲南市
- ・島根県
- ・中国地方防災エキスパート島根県内事務局
- ・国土交通省出雲河川事務所

参加人数 約360人



水防団による釜段工



水防団によるシート張り工

水防資機材点検の実施

(令和4年度実施状況)

消防団と水防資機材を点検し、必要に応じ資機材の更新を行った。

(令和5年度実施予定)

引き続き、消防団と水防資機材を点検し、必要に応じ資機材の更新を行う。



②天井川や湖沼の氾濫特性に応じた効果的な水防活動の実施(斐伊川)

②中海の浸水特性に応じた効果的な水防活動及び施設運用の取組(中海)

■水防活動の効率化及び水防体制の強化

○備蓄水防資機材情報の共有及び非常時における相互支援方法の確認

- 水防管理団体等と河川管理者との間において水防に必要な情報の交換を行い、洪水時等における協力体制の強化を図ることを目的として、『斐伊川水系水防連絡会』を開催。
- 関係機関の備蓄水防資機材の整備状況、出雲河川事務所の災害対策用機械の保有状況及び支援要請方法等を確認。
- 関係機関の水防連絡体制（系統）を確認。
- 水防団の知識・技能向上に向け水防専門家派遣制度等を紹介。

斐伊川水系水防連絡会

【令和5年度】

出水期までに開催予定

【令和4年度】

令和4年6月17日にテレビ会議方式で実施。

【令和3年度】 【令和2年度】

コロナウィルス感染拡大防止のため書面配布により実施。

【令和元年度】

開催日：令和元年6月20日（木）

会 場：松江国道事務所 大会議室

参加者：国、鳥取県、島根県、境港市、米子市、安来市、松江市、出雲市、雲南市等の担当者

防災行政無線戸別受信機及びいずも防災メールの加入促進

(令和4年度実施状況)

防災行政無線及びいずも防災メールの加入促進の広報を実施した。

また、令和5年3月、大社地域において住民に利用されている「大社ご縁ネット」(有線放送)が終了するため、大社地域に向け、防災行政無線戸別受信機の設置に係る案内文を送付した。

5月に市内小・中学校16校のPTAに向け、案内文を配布した。

◆防災行政無線戸別受信機設置数

20,999台 ※3月31日現在

◆いずも防災メール登録ユーザー数

9,805件 ※3月31日現在

(令和5年度実施予定)

引き続き、防災行政無線戸別受信機、いずも防災メール等の加入促進の広報を実施する。



②天井川や湖沼の氾濫特性に応じた効果的な水防活動
 ■水防活動の効率化及び水防体制の強化

280MHzデジタル同報無線システムの導入、防災ラジオの配布

[令和4年度実施状況]

280MHzデジタル同報無線システムを令和3年10月から運用開始しており、市内居住世帯や要配慮者利用施設等に防災ラジオを無償貸与、事業所には有償で譲渡している。

令和4年度も引き続き防災ラジオの貸与について周知を図り、普及に努めた。

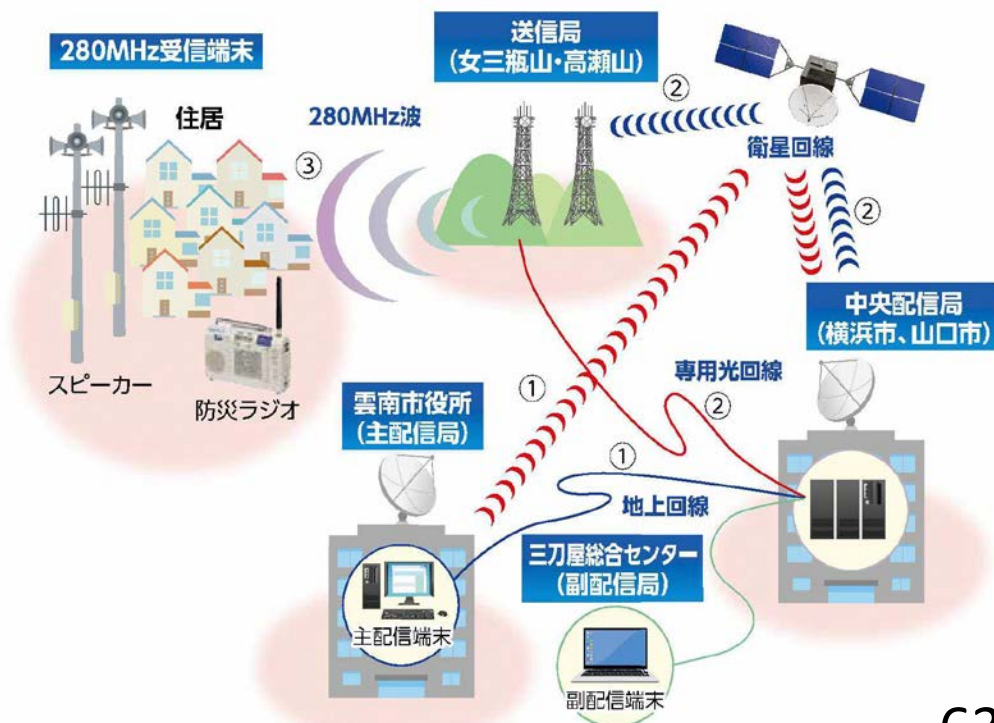
[令和5年度実施予定]

引き続き市報などを活用し、防災ラジオの普及に努める。

デジタル防災無線システムの仕組み

◆防災無線防災ラジオ配布数

11,235台 ※令和5年4月1日現在



②中海の浸水特性に応じた効果的な水防活動及び施設運用の取組

■施設運用の確実な実施

○水防関係者間での連携、協力に関する検討

出水対応に備えて「排水ポンプ車」講習会の実施

令和4年度

日 時： 令和4年8月25日(木)

場 所： 法勝寺川(南部町境)、小松谷川(米子市下安曇)、大川(米子市福市)、水貫川(米子市皆生新田)

参加者： 米子県土整備局および南部町の職員 約20名

講習概要： 現地確認及び排水ポンプ車基本操作、排水ホースの接続訓練等。迅速な活動のための改善案検討。

※ 南部町境排水ポンプ場では南部町と合同実施

★令和5年度についても継続実施(令和5年6月6日実施予定)



② 中海の浸水特性に応じた効果的な水防活動及び施設運用の取組

■ 施設運用の確実な実施

○ 排水樋門の操作説明会等の実施

適切・迅速な樋門管理により、中海や河川の水位上昇による被害防止を図る。
 (緊急時等の迅速な樋門操作や高齢化に対応した負担軽減のための電動化含む)

◆ 樋門操作にかかる講習会実施状況・予定

・令和4年度:

⇒ コロナ渦による中止

・令和5年度: 講習予定内容

⇒ 排水門操作に関する留意事項

⇒ 水位情報等の入手方法

⇒ 操作要領(操作水位)の確認

◆ 樋門電動化に向けた取組

操作員の高齢化への対応、多発する内水被害への対応の迅速化のため、電動化を進める。

・令和4年度 : 現地調査及び必要な事前調整

・令和5~7年度: 重要度の高い樋門から電動化

▽ 取組事例(他県事例)



電動ドリルの回転防止アンカー

現場ごとに制作必要な支柱



回転防止アンカーにより、電動ドリルをセットした後は、人差し指でレバーを引くだけで操作が可能。

② 中海の浸水特性に応じた効果的な水防活動及び施設運用の取組

■ 施設運用の確実な実施

○ 排水施設の操作説明会の実施

- 令和4年6月6日～6月9日にかけて、各市毎に操作委託を行っている操作員及び市の担当職員を対象に講習会を実施。
- 令和5年度は、出水期前に水位等の情報入手方法、操作要領の把握、適切な施設操作及び点検を行うこと等を目的とし、座学と現地における操作及び点検方法の説明を実施予定。

○ 講習会実施日（令和4年度）

- 6月 6日 松江市(東出雲地区)
- 6月 6日 安来市
- 6月 7日 出雲市
- 6月 7日 松江市(朝酌地区)
- 6月 8日 松江市(本庄地区)
- 6月 9日 米子市
- 6月 9日 境港市

※松江市は広域であるため、ブロックに分けて実施



揖屋9号排水門(R4. 6. 6)



出雲市会場(R4. 6. 7)

○ 講習会の説明内容

- ・ 排水門操作に関する留意事項
- ・ 水位情報等の入手方法
(電話応答、川の防災情報、潮位予測情報等)
- ・ 操作要領(操作水位)の確認
- ・ 適切な操作及び点検方法について
- ・ 不具合が発生した場合の対処方法
- ・ 操作記録簿の作成方法



米子市会場(R4. 6. 9)



田代川排水門(R4. 6. 9)

③長期化する浸水を一日も早く解消するための排水対策

■排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施

○排水計画に基づく排水訓練の実施

[令和4年度実施状況]市排水ポンプ車及び県常設排水ポンプの稼働訓練を実施した。

日 時： 令和4年5月19日(木)

場 所： 三谷川(雲南市三刀屋町三刀屋)

参加者： 雲南市、雲南県土整備事務所、委託業者

訓練概要： 出水期を前に、豪雨災害による三谷川の内水氾濫を想定し、市排水ポンプ車及び県常設排水ポンプの排水訓練を実施。

[令和5年度実施予定]市排水ポンプ車及び県常設排水ポンプの稼働訓練を実施する。



③予測しづらい高潮への対応能力を高める取組
 ■想定最大規模高潮における浸水シミュレーションの検討の進め方

・ 中海における想定最大高潮シミュレーション

○現在の検討状況
 ・外力について、過去の台風の実績を参考に、中海沿岸で潮位偏差が最大となる台風経路を想定



○今後の予定
 最新の地形データ(R3計測データ)をもとに浸水想定図を作成予定。

・ 参考(出雲河川事務所検討のリスク情報)

斐伊川水系洪水浸水想定区域図

R2.6公表

外力条件 L1(1/150規模の降雨)
L2(想定最大規模の降雨)

堤内地盤高 H22測量成果(5mメッシュを使用し25mメッシュに平均化)
(中海・大橋川・宍道湖、斐伊川、神戸川)

今後の予定 以下に該当する場合変更を想定

多段階浸水想定図及び水害リスクマップ

R4.3公表(外水氾濫を対象)

外力条件 高～中頻度の降雨
(1/10、1/30、1/50、1/100)

堤内地盤高 H22測量成果(5mメッシュを使用し25mメッシュに平均化)
(中海・大橋川・宍道湖、斐伊川、神戸川)

今後の予定 R7年度末を目標に内水氾濫も考慮したリスクマップを作成

想定最大規模高潮における浸水シミュレーション

中海モデルによる風場の再現状況

(m/s)

検討中

外力条件 想定最大規模の高潮

堤内地盤高 R3年測量成果(0.5mメッシュを使用し25mメッシュに平均化)
(中海)

今後の予定 最新の地形データ(R3計測データ)をもとに浸水想定図を検討

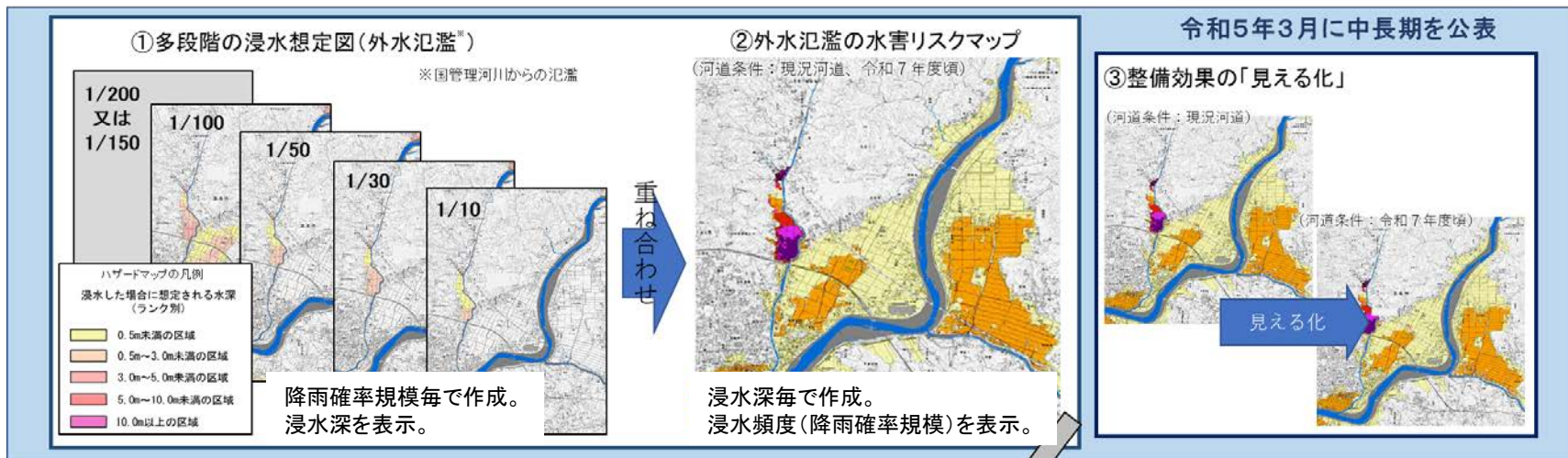
※洪水浸水想定区域図の変更について 浸水想定マニュアルより抜粋

- ①洪水調節施設、放水路の供用や堤防整備等河川整備の進捗により洪水浸水想定区域の大幅な変更が見込まれる場合
- ②対象とする降雨等の外力の変更により洪水浸水想定区域の大幅な変更が見込まれる場合
- ③土地利用の大規模な変更、大規模構造物の建設、連続盛土の変更や地形の大規模な改変等により、洪水浸水想定区域の大幅な変更が見込まれる場合
- ④技術の進歩等により地形測量や氾濫解析等の精度が向上したことで、洪水浸水想定区域の変更が必要と判断される場合
- ⑤上記のほか、洪水浸水想定区域における円滑かつ迅速な避難の確保及び浸水の防止のための措置を講じるために必要と認められる場合

④流域治水対策に資する取組

■水災害ハザードエリアにおける土地利用や住まい方の工夫

- 住民等の迅速かつ円滑な避難に資する水害リスク情報として、水防法に基づき「浸水想定区域図」を作成し、令和2年6月に公表。
- これに加えて、土地利用や住まい方の工夫の検討及び水災害リスクを踏まえた防災まちづくりの検討など、流域治水の取組を推進することを目的として、発生頻度が高い降雨規模の場合に想定される浸水範囲や浸水深を明らかにするため、「多段階の浸水想定図」及び「水害リスクマップ」の作成が求められており、斐伊川水系(直轄管理区間(外水))のマップについては令和5年3月に公表。
- 引き続き、県管理河川や下水道等の情報を加えた「内外水統合型水害リスクマップ」を令和7年度の公表を目指して作成中。



検討中(令和7年度までに公表予定)

